USA's primary source for projector lamps
myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

# BenQ

# MW705

**このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？**

**www.mplamps.co.jp**

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

# MX704/MW705

# デジタル プロジェクター

## 取扱説明書

# 目次


安全上のご注意. . . . . 3

はじめに. . . . . 8

プロジェクターの特長. . . . . 8
パッケージ内容. . . . . 9
プロジェクター外観ビュー. . . . . 10
制御装置および機能. . . . . 11

プロジェクターの配置. . . . . 15

場所の選択. . . . . 15
スクリーンサイズの調整. . . . . 16

接続. . . . . 18

ビデオ機器との接続. . . . . 19
ビデオ ストリーミング ハードウェアキーの接続 - QCast（オプション アクセサリ）. . . . . 20

操作. . . . . 22

プロジェクターの起動. . . . . 22
投写イメージの調整. . . . . 23
メニューの使用方法. . . . . 26
プロジェクターの保護. . . . . 27
入力信号の切り替え. . . . . 29
詳細の拡大と検索. . . . . 30
縦横比の選択. . . . . 30
画像の最適化. . . . . 32
プレゼンテーションタイマーの設定. . . . . 36
リモート ページング操作 . . . . . 37
画像の静止. . . . . 37
画像を隠す. . . . . 37
コントロールキーをロックする . 38
高地での操作 . . . . . 38
サウンドの調整 . . . . . 39
テストパターンの使い方 . . . . . 39
教育テンプレートの使い方 . . . . . 40
プロジェクターの終了 . . . . . 41
直接電源オフ . . . . . 41
メニューの操作 . . . . . 42

メンテナンス . . . . . 53

プロジェクターのお手入れ . . . . . 53
ランプについて . . . . . 54

トラブルシューティング . . . . . 60

仕様 . . . . . 61

プロジェクターの仕様 . . . . . 61
外形寸法 . . . . . 62
天井取り付け . . . . . 62
タイミングチャート . . . . . 63

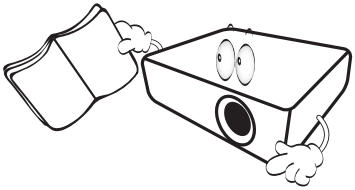
保証と著作権について . . . . . 67

# 安全上のご注意

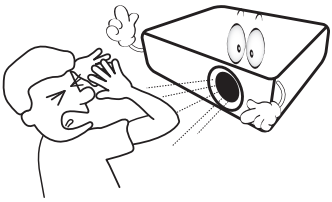
お使いのプロジェクターは、情報テクノロジー機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

## 安全にお使いいただくために

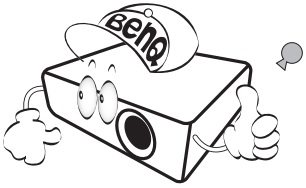
1. **プロジェクターを操作する前に、このユーザーガイドをお読みください。**またいつでも参照できるように、手の届く場所に保管しておいてください。



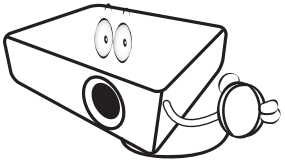
2. **動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。**強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



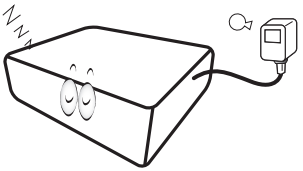
3. **点検修理については、認定サービス担当者にお問い合わせください。**




4. **プロジェクターのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッター（ある場合）を開くか、レンズキャップ（ある場合）を取り外してください。**

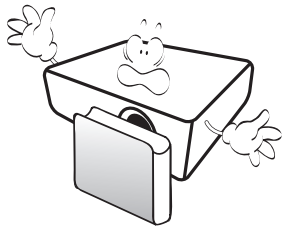


5. 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。プロジェクターは、電源が AC100 ～ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。**電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクターを接続することをお薦めします。**

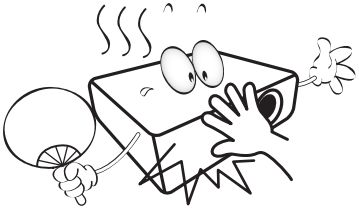


## 安全上のご注意（続き）

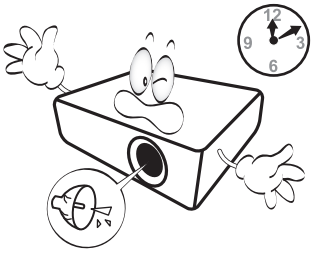
6. プロジェクターが作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。一時的にランプをオフにするには、プロジェクターかリモコンの **ECO BLANK** ボタンを押してください。



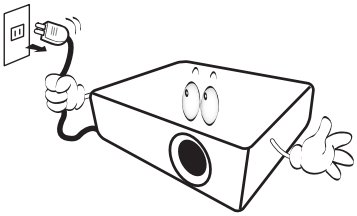
7. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクターを常温に戻してください。



8. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。

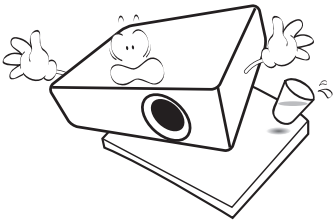



9. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクターの電源プラグを抜いてから行ってください。



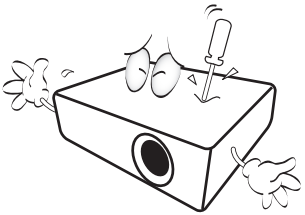
## 安全上のご注意（続き）

10. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、破損する恐れがあります。



11. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、専用の取り外し可能なカバーが付いたランプ部分だけです。

    いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。

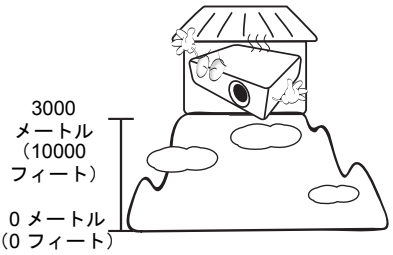


12. プロジェクターが稼動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。

13. 次の場所に装置を置かないでください。
    - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。
    - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
    - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。

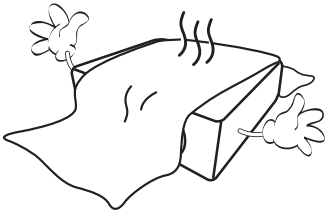


    - 火災報知器に近い場所。
    - 周辺温度が 40°C / 104°F を超える場所。
    - 高度が 3000 メートル（10000 フィート）を超える場所。



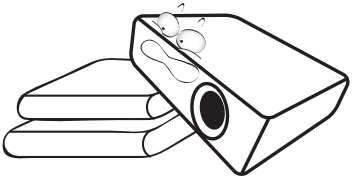
## 安全上のご注意（続き）

14. 通気孔をふさがないでください。
    - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
    - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
    - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。

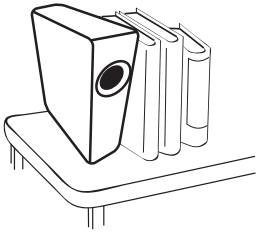


通気孔がふさがれると、プロジェクターの内部が過熱し、火災が発生することがあります。

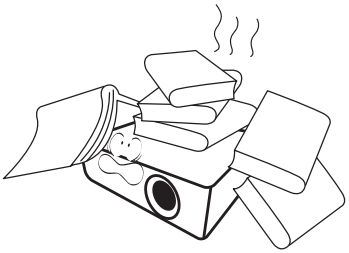
15. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
    - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態でプロジェクターを使用すると、ランプが故障したり破損したりすることがあります。



16. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり、プロジェクターが破損したりする恐れがあります。

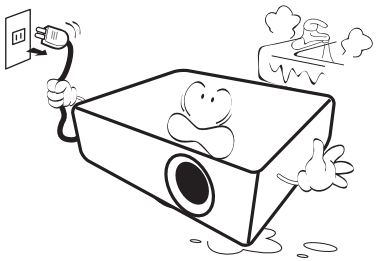


17. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。装置が物理的に破損するだけでなく、事故やけがの原因になります。



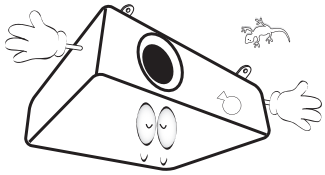
## 安全上のご注意（続き）

18. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクター内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクターを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクターを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクターの点検をご依頼ください。



19. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。

⚠ 天井に取り付ける場合は、BenQ の天井取り付けキットを使用し、しっかりと固定してください。



20. この装置は接地されていなければなりません。

### ⚠ プロジェクターの天井取り付け

BenQ プロジェクターを安心してお使いいただくために、ここに記載する注意をよくお読みになり指示にしたがってください。

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、BenQ プロジェクター専用天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

BenQ プロジェクター以外の天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

BenQ プロジェクター専用天井取り付けキットは、BenQ プロジェクターを購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途 Kensington ロックをお求めになり、プロジェクターの Kensington ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

⚠ Hg - このランプの中には水銀が入っています。お住まい地域の規定にしたがって処理してください。詳細は、www.lamprecycle.org をご覧ください。

# はじめに

## プロジェクターの特長

**プロジェクターには次のような特長があります。**

- **SmartEco™ で効率的に省エネを実行**
  SmartEco™ テクノロジーは、全く新しい方法でプロジェクターのランプ システムを作動させ、表示内容の輝度レベルによっては、ランプ電力を削減します。
- **SmartEco™ テクノロジー採用によりランプ寿命が最長に**
  SmartEco™ テクノロジーは電力消費量を低減させ、ランプの寿命を延長させる技術です。
- **ECO BLANK でランプの電力消費量を低減**
  **ECO BLANK** ボタンを押すと、画像を隠し、同時にランプ電力を低減させます。
- **スタンバイ状態のとき 0.5W 以下**
  スタンバイ モードで電力消費量わずか 0.5W 以下です。
- **フィルタフリー**
  メンテナンスと操作コストを低減するフィルタフリー設計。
- **1 キー自動調整**
  キーパッドまたはリモコンの **AUTO** を押すと、直ちに最高画質で表示されます。
- **内蔵スピーカー**
  オーディオ入力接続によりミックスモノラルオーディオ対応の内蔵スピーカー。
- **クイッククーリング、自動パワーオフ、信号入力時電源オン、ダイレクト電源オン**
  **クイッククーリング**機能は、プロジェクターの電源を切ったときに冷却処理を加速します。**自動パワーオフ**機能は、指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときに、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。**信号入力時電源オン**機能は、信号入力が検出されると、プロジェクターを自動的にオンにします。**ダイレクト電源オン**は、電力が供給されると、自動的にプロジェクターをブートアップします。
- **クイック再起動**
  **クイック再起動**を選択すると、プロジェクターをオフにしてから 90 秒以内に再起動することができます。
- **3D 機能対応**
  さまざまな 3D フォーマットにより、3D 機能がより柔軟になります。画像に奥行を加わりますので、BenQ 3D メガネを使用すると、3D ムービー、ビデオ、スポーツイベントなどをよりリアルに楽しむことが可能になります。

☞ 投写イメージの明るさは、周辺光の状態および選択した入力信号のコントラスト / 輝度設定によって変わります。また投写距離の影響を直接受けます。

☞ ランプの明度は時間の経過に伴い暗くなります。また明度はランプ製造元の仕様によって異なります。これは異常ではなく、正常で予期される変化です。

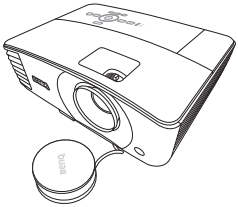
# パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

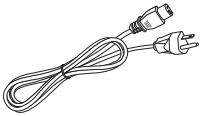
## 標準アクセサリ

同梱のアクセサリ類は日本仕様のものであり、本書の図とは異なる場合があります。

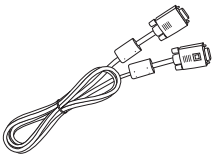
＊保証書は特定地域でしか提供しておりません。詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。



プロジェクター



電源コード



VGA ケーブル



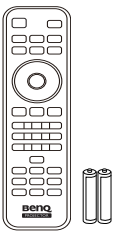
クイックスタートガイド



取扱説明書 CD



保証書＊



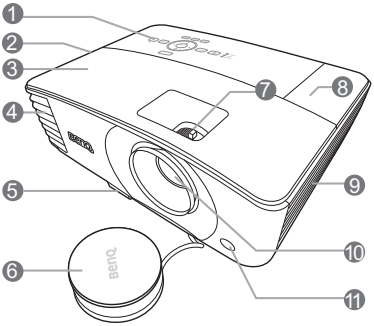
リモコン（電池付き）

## 別売りアクセサリ

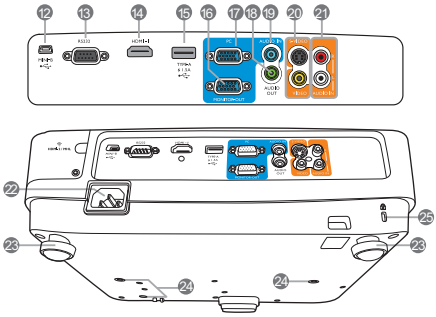
1. スペアランプキット
2. 天井取り付けキット
3. 3D メガネ
4. ビデオ ストリーミング ハードウェアキー - QCast ハードウェアキー
5. RS232 ケーブル

# プロジェクター外観ビュー

## 正面 / 上面



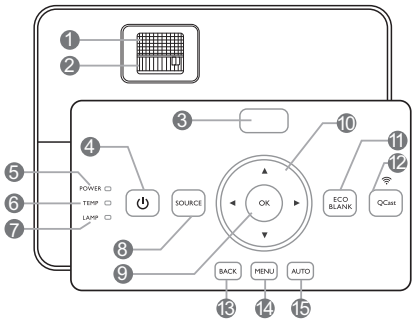
## 背面 / 底面



1. コントロール パネル
   ( 詳細は 11 ページの「制御装置および機能」を参照してください。)
2. スピーカー グリル
3. ランプカバー
4. 通気（熱気排出）
5. クイックリリース ボタン
6. レンズ キャップ
7. ピントおよびズーム リング
8. ワイヤレス カバー
9. 通気（冷気取り込み）
10. 投写レンズ
11. 赤外線リモートセンサー
12. Mini USB ポート
13. RS232 コントロールポート
14. HDMI 入力ポート
15. USB Type-A ポート
    （1.5A 電源を供給）QCast ハードウェアキー充電用（オプション アクセサリ）
16. RGB 信号出力ジャック
17. RGB (PC)/ コンポーネントビデオ (YPbPr/YCbCr) 信号入力ジャック
18. オーディオ出力ジャック
19. オーディオ入力ジャック
20. S-Video 入力ジャック
    ビデオ入力ジャック
21. オーディオ (L/R) 入力ジャック
22. AC 電源ジャック
23. 調整脚
24. 天井取り付け用の穴
25. 盗難防止用 Kensington ロック スロット

# 制御装置および機能

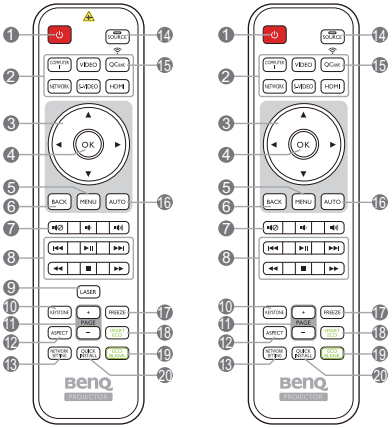
## プロジェクター




1. **フォーカスリング**
   投写イメージの焦点を調整します。
2. **ズームリング**
   画像のサイズを調整します。
3. **赤外線リモートセンサー**
4. **⏻ 電源**
   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。
5. **POWER（電源インジケーターライト）**
   プロジェクター動作中に点灯または点滅します。
6. **TEMP（温度警告ライト）**
   プロジェクターの温度が異常に高くなると赤く点灯します。
7. **LAMP（ランプインジケーターライト）**
   ランプの状態を示します。ランプに問題が発生すると、点灯または点滅します。
8. **SOURCE**
   ソース選択バーを表示します。
9. **OK**
   選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを確定します。
10. **矢印キー（▲上、▼ 下、◀ 左、▶ 右）**
    オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。
11. **ECO BLANK**
    スクリーン画像を隠すために使用します。
12. **QCast**
    - プロジェクターのソースを **HDMI-2/MHL** に切り替えます。
    - QCast ハードウェアキーまたは MHL デバイスが正しく **HDMI-2/MHL** ポートに接続されている場合に点灯します。
13. **BACK**
    前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。
14. **MENU**
    オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。
15. **AUTO**
    表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。

# リモコン

（日本専用）



1. **⏻ 電源**

   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

2. **ソース選択ボタン（COMPUTER 1、VIDEO、S-VIDEO、HDMI、QCast）**

   表示する入力ソースを選択します。

   (**NETWORK**)

   機能なし

3. **矢印キー（▲上、▼ 下、◀ 左、▶ 右）**

   オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

4. **OK**

   選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。

5. **MENU**

   オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。

6. **BACK**

   前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

7. **🔇、🔉、🔊**

   - 🔇：プロジェクターの音声をオン / オフに切り替えます。
   - 🔉：プロジェクターの音量を下げます。
   - 🔊：プロジェクターの音量を上げます。

8. **MHL 操作ボタン（⏮ 戻る、⏯ 再生 / 一時停止、⏭ 次へ、◂◂ 巻き戻し、■ 停止、▸▸ 早送り）**

   - メディアを再生中に、前のファイル / 再生 / 一時停止 / 次のファイル / 巻き戻し / 停止 / 早送りを実行できます。
   - MHL モードでスマートデバイスを操作する場合にのみ有効です。

9. **LASER**

   プレゼンテーション時にレーザーライトを発します。

10. **KEYSTONE**

    台形補正画面が開きます。

11. **PAGE +/PAGE -**

    ページを上に / 下にコマンドに対応するディスプレイ ソフトウェア（Microsoft PowerPoint など）を（接続された PC から）操作します。

12. **ASPECT**

    表示縦横比を選択します。

13. **NETWORK SETTING**

    機能なし

14. **SOURCE**

    ソース選択バーを表示します。

15. **QCast**

    プロジェクターのソースを **HDMI-2/MHL** に切り替えます。

16. **AUTO**

    表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。

17. **FREEZE**

    投写画像を静止します。

18. **SMART ECO**

    ランプ モード選択バーを表示します。

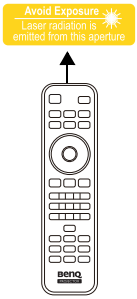
19. **ECO BLANK**

    スクリーン画像を隠すために使用します。

20. **QUICK INSTALL**

    いくつかの機能をすばやく選択し、投写画像を調整してテストパターンを表示します。

## **LASER** ポインタの操作




レーザーポインタは発表者がプレゼンテーションを行うときに使用するものです。ポインタを押すと赤い光線が発光します。

レーザー光線は目に見えるものです。レーザー光線を続けて放射するには **LASER** ボタンを押し続ける必要があります。

警告：
絶対にレーザー光線ウィンドウを覗いたり、光線を人の目に向けて当てないでください。リモコンをご使用になる前に、裏面に記載されている警告をお読みください。

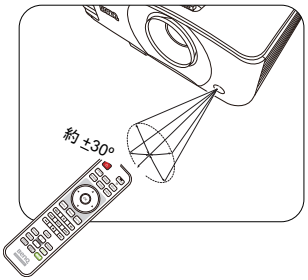
レーザーポインタはおもちゃではありません。レーザーポインタはお子様の手の届かない場所に保管しておいてください。

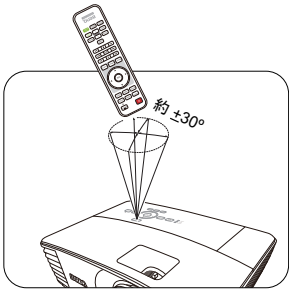
## リモコンの有効範囲

リモコンはプロジェクターの IR リモコン センサーに対して垂直に 30 度以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（~ 26 フィート）以内でなければなりません。

リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に障害物があると、赤外線光線が届かない場合があります。

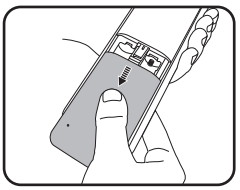
- 正面からプロジェクターを操作する
- 上からプロジェクターを操作する

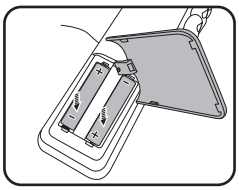



## リモコンの電池の交換

1. バッテリーカバーを開くには、リモコンを裏返してカバーのグリップを押し、図に示す方向にスライドさせてください。するとカバーが外れます。
2. 挿入されている電池を外し（必要な場合）、AAA（単 4）電池 2 個を極性に注意しながら挿入してください。プラス極 (+) はプラスに、マイナス極 (-) はマイナスの方向に挿入してください。
3. 再びカバーを元に戻してください。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。





警告：

- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

# プロジェクターの配置

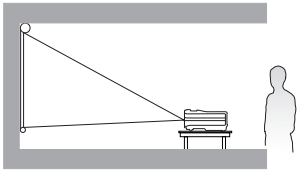
## 場所の選択

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクターとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

本機は次の設置状態で使うことができます。相当する設定は、OSD メニューで行うことができます。

**1. 前面投写**

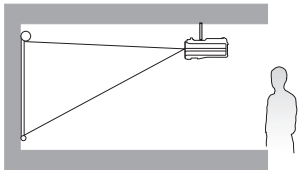
プロジェクターをスクリーンの正面に置いたテーブルに設置します。これが最も一般的な設定です。



**2. 天井前面投写**

プロジェクターを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。

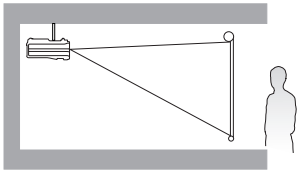
この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクター天井取り付けキットをご購入ください。



**3. 天井リア投写**

プロジェクターを上下逆さにスクリーン背面の天井に取り付けます。

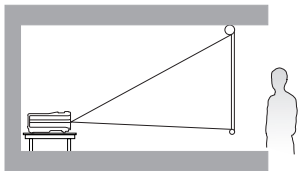
専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクター天井取り付けキットが必要です。



**4. リア投写**

プロジェクターをスクリーン背面に置いた机の上に設置します。

専用の背面投写スクリーンが必要です。



プロジェクターの電源を入れた後、次のいずれかの手順に従ってプロジェクターの位置を決定することができます。

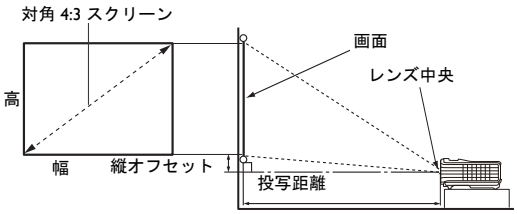
- **MENU** を押して、**システム設定**：**基本**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。▼ を押して**プロジェクタの設置**を選択し、その後で ◀/▶ を押して言語を選択します。
- リモコンで **QUICK INSTALL** を押して、**プロジェクタの設置**が選択されるまで ▲/▼ を押し続けてください。**OK** を押した後、◀/▶ を押して設定を選択します。

# スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。

## 投写サイズ

### MX704



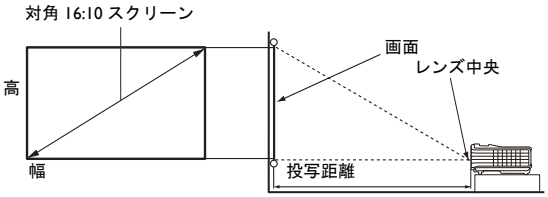

スクリーンの縦横比は 4:3、投写画像の縦横比は 4:3

| スクリーンサイズ | | | | スクリーンからの距離 (cm) | | | 縦オフセット (cm) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対角 | | 高 (cm) | 幅 (cm) | 最短 (最大ズーム) | 平均 | 最長 (最小ズーム) | |
| インチ | mm | | | | | | |
| 60 | 1524 | 91 | 122 | 238 | 250 | 262 | 9.1 |
| 70 | 1778 | 107 | 142 | 278 | 292 | 306 | 10.7 |
| 80 | 2032 | 122 | 163 | 318 | 334 | 350 | 12.2 |
| 90 | 2286 | 137 | 183 | 358 | 376 | 393 | 13.7 |
| 100 | 2540 | 152 | 203 | 397 | 417 | 437 | 15.2 |
| 110 | 2794 | 168 | 224 | 437 | 459 | 481 | 16.8 |
| 120 | 3048 | 183 | 244 | 477 | 501 | 525 | 18.3 |
| 130 | 3302 | 198 | 264 | 517 | 543 | 568 | 19.8 |
| 140 | 3556 | 213 | 284 | 556 | 584 | 612 | 21.3 |
| 150 | 3810 | 229 | 305 | 596 | 626 | 656 | 22.9 |
| 160 | 4064 | 244 | 325 | 636 | 668 | 699 | 24.4 |
| 170 | 4318 | 259 | 345 | 676 | 709 | 743 | 25.9 |
| 180 | 4572 | 274 | 366 | 715 | 751 | 787 | 27.4 |
| 190 | 4826 | 290 | 386 | 755 | 793 | 831 | 29.0 |
| 200 | 5080 | 305 | 406 | 795 | 835 | 874 | 30.5 |
| 250 | 6350 | 381 | 508 | 994 | 1043 | 1093 | 38.1 |
| 300 | 7620 | 457 | 610 | 1192 | 1252 | 1312 | 45.7 |

たとえば、120 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 501 cm、縦オフセットは 18.3 cm となります。

測定した投写距離が 620 cm であったとき、「スクリーンからの距離 (cm)」欄の最も近い値は 626 cm になります。同じ列を見ると、150 インチ（約 3.8 m）が必要なスクリーンであることが分かります。

## MW705




スクリーンの縦横比は 16:10 であり、投写画像の縦横比は 16:10 です

| スクリーンサイズ | | | | スクリーンからの距離 (cm) | | | 縦オフセット (cm) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対角 | | 高 (cm) | 幅 (cm) | 最短 | 平均 | 最長 | |
| インチ | mm | | | (最大ズーム) | | (最小ズーム) | |
| 60 | 1524 | 81 | 129 | 200 | 210 | 220 | 0.0 |
| 70 | 1778 | 94 | 151 | 233 | 245 | 257 | 0.0 |
| 80 | 2032 | 108 | 172 | 267 | 280 | 293 | 0.0 |
| 90 | 2286 | 121 | 194 | 300 | 315 | 330 | 0.0 |
| 100 | 2540 | 135 | 215 | 333 | 350 | 367 | 0.0 |
| 110 | 2794 | 148 | 237 | 367 | 385 | 403 | 0.0 |
| 120 | 3048 | 162 | 258 | 400 | 420 | 440 | 0.0 |
| 130 | 3302 | 175 | 280 | 433 | 455 | 477 | 0.0 |
| 140 | 3556 | 188 | 302 | 467 | 490 | 513 | 0.0 |
| 150 | 3810 | 202 | 323 | 500 | 525 | 550 | 0.0 |
| 160 | 4064 | 215 | 345 | 533 | 560 | 587 | 0.0 |
| 170 | 4318 | 229 | 366 | 567 | 595 | 623 | 0.0 |
| 180 | 4572 | 242 | 388 | 600 | 630 | 660 | 0.0 |
| 190 | 4826 | 256 | 409 | 633 | 665 | 697 | 0.0 |
| 200 | 5080 | 269 | 431 | 667 | 700 | 733 | 0.0 |
| 250 | 6350 | 337 | 538 | 833 | 875 | 917 | 0.0 |
| 300 | 7620 | 404 | 646 | 1000 | 1050 | 1100 | 0.0 |

たとえば、120 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 420 cm となります。

測定した投写距離が 520 cm であったとき、「スクリーンからの距離 (cm)」欄の最も近い値は 525 cm になります。同じ列を見ると、150 インチ（約 3.8 m）が必要なスクリーンであることが分かります。

測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。
プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお薦めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

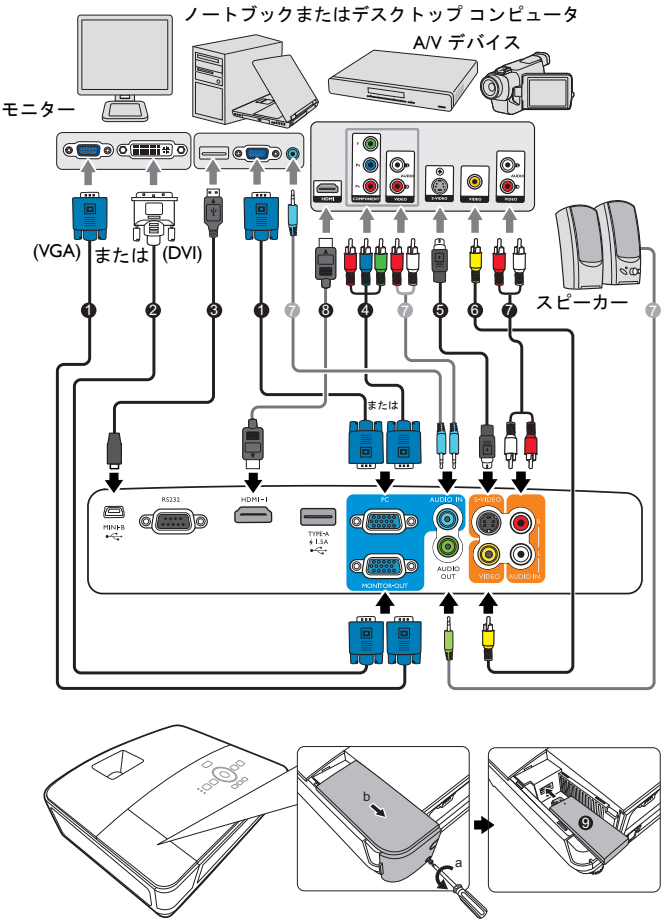
# 接続

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

☞ 下に示す接続図では、プロジェクターにケーブルは接続されていません（詳細は、9 ページの「パッケージ内容」を参照してください。）ケーブルはお近くの電気店でお求めください。

☞ 下の接続図は参照用です。プロジェクターの背面にある接続ジャックは、プロジェクターのモデル毎に異なります。



1. VGA ケーブル
2. VGA ― DVI-A ケーブル
3. USB ケーブル
4. Component Video ― VGA (D-Sub) アダプタケーブル
5. S ビデオ ケーブル
6. ビデオケーブル
7. オーディオケーブル
8. HDMI ケーブル
9. QCast ハードウェアキー

☞ 多くのノートブックでは、プロジェクターを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は「FN」+「F3」や CRT/LCD の組み合わせによって、外付けディスプレイをオン / オフにすることができます。CRT/LCD 機能キーまたは、ノートブック上でモニター記号が示された機能キーの場所を確認します。FN と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートブックのキーの組み合わせについては、ノートブックの説明書をお読みください。

☞ D-Sub 出力は、**PC** ジャックに正しく D-Sub 入力信号が送られなければ機能しません。

☞ プロジェクターがスタンバイモードになっているときにこの接続方式を使用するには、**システム設定：詳細**メニューで **モニター出力** 機能がオンになっていることを確認してください。詳細は、52 ページの「待機設定」を参照してください。

# ビデオ機器との接続

いずれかの方法でプロジェクターとビデオソース装置を接続してください。ただし、方法によってビデオ品質が異なります。接続方法は、プロジェクターとビデオソース装置の両方に搭載されている端末に合ったものを選択してください。

| 端末名 | 端末の形態 | 画質 |
|---|---|---|
| **HDMI/MHL** |  | 最高 |
| **Component Video** |  | かなり良い |
| **S-Video** |  | 良い |
| **Video** |  | ノーマル |

## オーディオ接続

このプロジェクターにはビジネス用途に限り使用できる、データプレゼンテーションに組み込まれた基本的な音声機能を再生できるようにモノラル スピーカーが内蔵されています。ステレオオーディオ入力は、プロジェクターのスピーカーを介して一般的なモノラルオーディオ出力にミキシングされます。

**AUDIO OUT** ジャックを接続すると、内蔵スピーカーは無音になります。

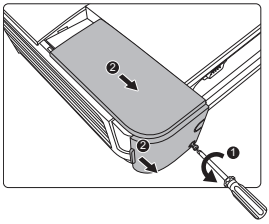
☞ 正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されない場合は、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

# ビデオ ストリーミング ハードウェアキーの接続 - QCast（オプション アクセサリ）

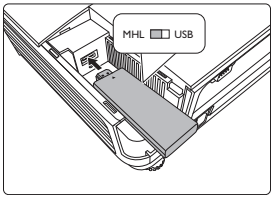
このハードウェアキーは、スマート機器やコンピュータからワイヤレスで投写できるようにします。QCast ハードウェアキーの購入を希望される方は、お近くの販売店にお問い合わせください。

## インストール

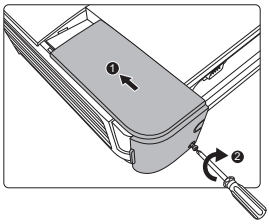
1. ワイヤレス カバーを固定しているネジを緩めて、ワイヤレス カバーを開きます。



2. ハードウェアキーのスイッチャーを MHL にスライドさせて、ハードウェアキーを **HDMI-2/MHL** ポートに繋ぎます。

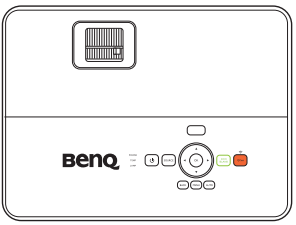



3. ワイヤレス カバーを元に戻して、ワイヤレス カバーを固定するためにネジを締めてください。



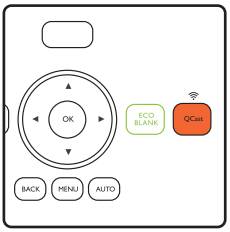
# ワイヤレス投写を開始する

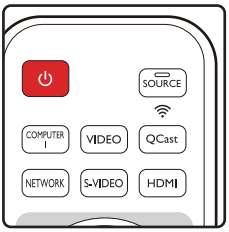
1. プロジェクターの電源を入れます。
2. QCast ハードウェアキーを **HDMI-2/MHL** ポートに正しく接続した後は、LED ライトがオレンジ色に点灯します。




☞ 別の MHL ハードウェアキーまたは MHL 対応デバイスに接続された MHL ケーブルが **HDMI-2/MHL** ポートに接続されていると、LED ライトがオレンジ色に点灯します。

3. 次のいずれかの手順にしたがって、QCast ハードウェアキーを使ってワイヤレス機能を有効にしてください。
   - プロジェクターかリモコンの **QCast** を押します。

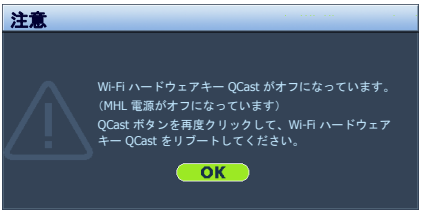



   - **SOURCE** を押して、ソース選択バーで **HDMI-2/MHL** を選択してください。

4. 以上でワイヤレス投写を開始できます。

ワイヤレス投写が突然停止してしまった場合は、**QCast** を押して QCast ハードウェアキーをオフにしてください。プロジェクターまたはリモコンの **QCast** を押すと、ハードウェアキーが再起動します。

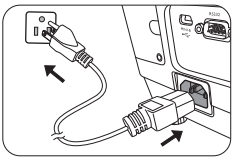



☞ プロジェクターが自動的に有効な信号を検出しようとしているときには、入力ソース **HDMI-2/MHL** は検出されません。

☞ 他のブランドの MHL ハードウェアキーとの互換性については保証されていません。

# 操作

## プロジェクターの起動



1. 電源コードをプロジェクターとコンセントに差し込みます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電源を入れると、**POWER（電源インジケーターライト）**がオレンジ色になります。

⚠ 電気ショックや火災などの危険を回避するために、アクセサリ類（電源コードなど）は装置専用のものをご使用ください。

2. **電源**を押してプロジェクターを起動します。ランプが点灯するとすぐに、**「電源オンの音」**が聞こえます。**POWER（電源インジケーターライト）**が緑色に点滅し、投写されると緑色に点灯します。

   起動処理には約 30 秒かかります。起動処理の後半で、スタートアップロゴが表示されます。

   必要であれば、フォーカスリングを使って画像の鮮明さを調整してください。

   音をオフにする方法については、39 ページの「オフにする電源オン / オフ音」を参照してください。

☞ プロジェクターが前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、約 90 秒間冷却ファンが作動します。




3. 初めてプロジェクターを起動する場合は、画面の指示に従って OSD 言語を選択してください。
4. パスワードの入力を求められた場合は、矢印キーを使って 6 桁のパスワードを入力してください。詳細は、27 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。
5. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
6. プロジェクターは入力信号の検索を開始します。スキャンされている入力信号がスクリーン左上隅に表示されます。プロジェクターが有効な信号を検出しない場合は、入力信号が検出されるまで「信号なし」のメッセージが表示され続けます。

   プロジェクターまたはリモコンの **SOURCE** を押して表示する入力信号を選択することもできます。詳細は、29 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。

☞ 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクターの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージがバックグラウンド スクリーンに表示されます。プロジェクターの解像度に合った入力信号に変えるか、入力信号を低い値に設定し直してください。詳細は、63 ページの「タイミングチャート」を参照してください。

☞ 3 分たっても信号が検出されなければ、プロジェクターは自動的にエコモードに入ります。

# 投写イメージの調整

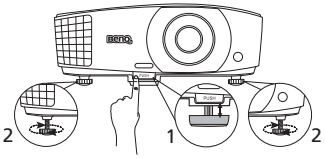
## 投写角度の調整

プロジェクターには、クイック調整脚が 1 つ、背面調整脚が 2 つ備え付けられています。これらの調整用脚を使用すると、画像の高さと投写角度を変更できます。

投写角度を調整してください。

1. クイックリリース ボタンを押して、プロジェクターの手前部分を持ち上げます。画像が正しい位置に表示されたら、クイックリリース ボタンを放してその位置でロックします。
2. 背面調整脚を回して、水平角度を微調整します。

高さ調整脚を収納するには、背面調整脚のネジを反対方向に回します。




ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。

クイックリリース ボタンは熱風が出る排気孔の近くにありますので、このボタンを押すときには注意してください。

プロジェクターが床に対して水平な場所に設置されていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが垂直に設置されていない場合は、投写画像が台形になります。このような問題を補正する方法については、24 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。

## 画像の自動調整

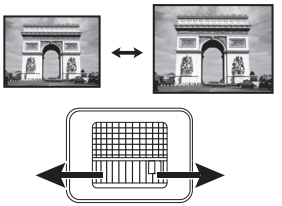
場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。これを実行するには、プロジェクターかリモコンの **AUTO** を押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、3 秒以内に最適な画質が得られます。

下図のように、現在のソース情報がスクリーンの隅に 3 秒間表示されます。

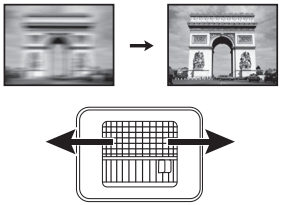
この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。

## 画像サイズと明瞭さの微調整

1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。



2. フォーカスリングを回して焦点を合わせます。



# キーストーンの補正

キーストーンとは、投写画像の上辺または下辺のいずれかが明らかに長くなってしまう状態のことです。プロジェクターがスクリーンに対して垂直でないときに生じます。

これを自動的に修正するには、次の手順に従ってください。

1. **MENU** を押して、**表示**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して、**自動台形補正**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**を選択してください。

これを手動で修正するには、次の手順に従ってください。

1. 次のいずれかの操作を実行すると、キーストーン補正ページが表示されます。
   - リモコンの **KEYSTONE** を押します。
   - リモコンの **QUICK INSTALL** を押します。▼ を押して **2D 台形補正**を選択し、次に **OK** を押してください。
   - **MENU** を押して、**表示**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。▼ を押して **2D 台形補正**を選択し、次に **OK** を押してください。






⏢ を押します。　⏢ を押します。



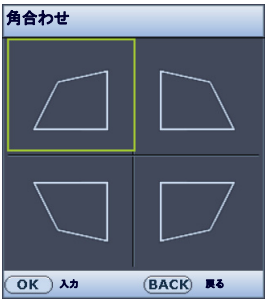
⏢ を押します。　⏢ を押します。

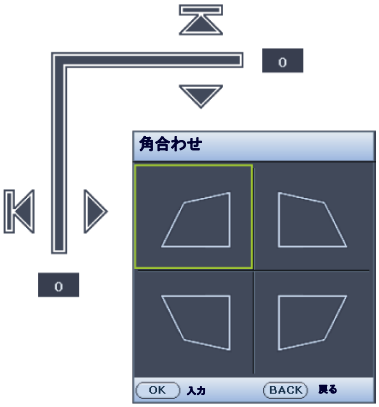
2. **2D 台形補正**補正ページが表示されたら ⏢ を押すと、画像の上辺のキーストーンが補正されます。⏢ を押すと、画像の下部のキーストーンが補正されます。プロジェクターの ⏢ を押すと、画像の右側をキーストーン補正できます。プロジェクターの ⏢ を押すと、画像の左側をキーストーン補正できます。

# 角合わせ

水平値と垂直値を設定すると、画像の 4 隅を手動で調整できます。

1. 次のいずれかの操作を実行すると、角合わせ補正ページが表示されます。
   - リモコンの **QUICK INSTALL** を押します。▼ を押して**角合わせ**を選択し、次に **OK** を押してください。
   - **MENU** を押して、**表示**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。▼ を押して**角合わせ**を選択し、次に **OK** を押してください。
2. ▲/▼/◀/▶ を押して、1 つの角を選択した後で **OK** を押してください。
3. ▲/▼ を押して垂直値を調整します。
4. ◀/▶ を押して水平値を調整します。



# メニューの使用方法

このプロジェクターは、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

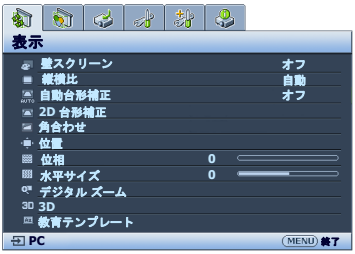
下の OSD スクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

以下に OSD メニューの概要を紹介します。




次の例は、OSD 言語を設定する順番を説明したものです。

1. プロジェクターかリモコンの **MENU** を押して、OSD メニューをオンにします。




2. ◀/▶ を使って **システム設定：基本** メニューを選択します。




3. ▼ を押して**言語**を選択し、次に **OK** を押してください。




4. ▲/▼/◀/▶ を押して言語を選択し、**OK** を押します。
5. **BACK** を押して戻るか、**MENU** を押して終了します。

# プロジェクターの保護

## セキュリティケーブルロックの使い方

盗難防止のために、プロジェクターは安全な場所に設置してください。または Kensington ロックなどのロックを購入して、プロジェクターを安全に保護してください。Kensington ロック スロットはプロジェクターの背面にあります。詳細は、10 ページの項目 25 をご覧ください。

Kensington ケーブルロックは通常キーとロックを組み合わせたものです。ご使用方法については、ロックの説明書を参照してください。

## パスワード機能を使用する

セキュリティのため、および許可されていないユーザーがプロジェクターを勝手に使用できないように、このプロジェクターにはパスワードを設定することができます。パスワードはオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで設定します。

⚠ 警告：パスワード機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。（必要であれば）本書を印刷し、設定したパスワードを本書に書き留めておき、安全な場所に保管しておいてください。

### パスワードの設定

☞ 一度パスワードを設定して電源オンロックを有効にすると、プロジェクターを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクターを使用することはできなくなります。

1. OSD メニューを開き、**システム設定：詳細** > **セキュリティ設定** メニューを選択してください。**OK** を押します。すると**セキュリティ設定**ページが表示されます。
2. **セキュリティ設定の変更**を選択し、**OK** を押します。
3. 右図に示す通り、4 つの矢印キー（▲、▶、▼、◀) はそれぞれ 4 つの数字（1、2、3、4）を示しています。矢印キーを使って、6 桁のパスワードを入力して設定します。
4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
   パスワードの設定が完了すると、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは **セキュリティ設定** ページに戻ります。




5. **電源ロック**機能を有効にするには、▲/▼ を押して、**電源ロック**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**を選択してください。

⚠ 重要：入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。

パスワード：＿＿＿＿＿＿

本書は安全な場所に保管しておいてください。

6. OSD メニューを終了するには、**BACK を押します。**

## パスワードを忘れた場合




パスワード機能を有効にすると、プロジェクターをオンにするたびに 6 桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワードエラーメッセージが表示され、次に**パスワードの入力**というメッセージが表示されます。別の 6 桁のパスワード上を押してもう一度やり直してください。またはパスワード忘れてしまい、さらに本書にパスワードを記録しておかなかった場合は、パスワードの呼び戻し手続きを行ってください。詳細は、28 ページの「パスワードの呼び戻しを行うには」を参照してください。

パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。

## パスワードの呼び戻しを行うには




1. プロジェクターかリモコンの **AUTO** を 3 秒間押します。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、お近くの BenQ サービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

## パスワードの変更

1. OSD メニューを開き、**システム設定：詳細** > **セキュリティ設定** > **パスワードの変更**メニューを選択してください。
2. **OK** を押します。すると**「現在のパスワード」**というメッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
   i. パスワードが正しければ、**「新しいパスワード」**というメッセージが表示されます。
   ii. パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが表示され、**「現在のパスワード」**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**BACK** を押してください。
4. 新しいパスワードを入力します。

⚠ 重要：入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。

パスワード：＿＿＿＿＿＿

本書は安全な場所に保管しておいてください。

5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
6. プロジェクターに新しいパスワードが割り当てられました。次回プロジェクターを起動したときには、必ず新しいパスワードを入力してください。
7. OSD メニューを終了するには、**BACK を押します。**

### パスワード機能を無効にする

パスワード機能を無効にするには、OSD メニューを開いた後で**システム設定：詳細 > セキュリティ設定 > セキュリティ設定の変更** メニューに戻ってください。**OK を押します。**すると**「パスワードの入力」**というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。

i. パスワードが正しく入力されると、OSD メニューの**セキュリティ設定**ページに戻ります。
▼ を押して、**電源ロック**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オフ**を選択してください。次回プロジェクターをオンにするときには、パスワードを入力する必要はありません。

ii. パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが表示され、**「パスワードの入力」**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**BACK** を押してください。

☞ パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。

## 入力信号の切り替え

プロジェクターは同時に複数の装置に接続することができます。ただし一度に表示できる装置は 1 台です。起動時にプロジェクターは自動的に有効な信号を検出します。

プロジェクターに自動的に信号を検出させるためには、**ソース**メニューで**クイック自動検索**機能が**オン**になっていることを確認してください。

ソースの選択：

1. **SOURCE** を押します。するとソース選択バーが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に **OK** を押します。
   信号が検出されたら、選択したソース情報が画面の隅に数秒間表示されます。プロジェクターに複数の装置が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。




☞ 入力信号を変えると、そのたびに投写画像の輝度も変わります。通常ほとんどが静止画を使ったデータ（グラフィック）PC プレゼンテーションは、ほとんどが動画（ムービー）のビデオよりも明るくなります。

☞ このプロジェクターの最高ディスプレイ解像度は、縦横比 4:3 (MX704)/16:10 (MW705) です。最高の画質にするには、この解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、縦横比の設定によってプロジェクターが画像の縦横比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。詳細は、30 ページの「縦横比の選択」を参照してください。

### カラースペースの変更

プロジェクターの **HDMI** 入力を介してプロジェクターを DVD プレーヤーに接続するような場合、投写画像の色が正しく表示されない場合がありますが、その場合はカラースペースを **YUV** に変更してください。

これを実行するには：

1. **MENU** を押して、**ソース**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して、**カラースペース転換**を選択し、次に ◀/▶ を押して適切なカラースペースを選択してください。

☞ この機能は HDMI 入力ポート使用中にしか有効になりません。

## 詳細の拡大と検索

投写画像で詳細を見つけ出したい場合は、画像を拡大してください。矢印キーを使用すると、画像をナビゲートできます。

1. **MENU** を押して、**表示**メニューが表示されるまで ◀ /▶ を押してください。
2. ▼を押して、**デジタル ズーム**を選択し、次に **OK** を押してください。するとズームバーが表示されます。
3. ▲ を繰り返し押すと、画像を任意のサイズに拡大できます。
4. 画像をナビゲートするには、**OK** を押してパン モードに切り替えて、プロジェクターかリモコンの矢印キー（▲、▼ 、◀ 、▶ ）を使用します。
5. 画像のサイズを縮小するには、**AUTO** を押すと元のサイズに戻ります。また、元のサイズに戻るまで、繰り返し ▼ を押すこともできます。

☞ 画像は拡大しなければナビゲートできません。詳細を検索しながら、画像をさらに拡大することができます。

## 縦横比の選択

縦横比とは、イメージの幅と高さの比率のことです。ほとんどのアナログ TV とある種のコンピュータの画面の縦横比率は 4:3 です。デジタル TV や DVD の場合は 16:9 です。

デジタル信号処理能力が進化するにつれて、このプロジェクターのようなデジタルディスプレイ装置はイメージ出力をイメージ入力信号とは異なるアスペクトにまで拡張できるようになりました。

投写画像の比率を変更する（ソースの縦横比に関係なく）：

- リモコンの使用方法

1. **ASPECT** を押して現在の設定を表示します。
2. **ASPECT** を繰り返し押して、ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比を選択してください。

- OSD メニューの使用方法

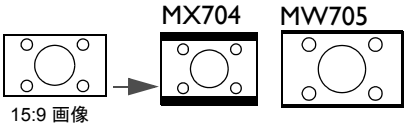
1. **MENU** を押して、**表示**メニューが表示されるまで ◀ /▶ を押してください。
2. ▼ を押して、**縦横比**を選択します。
3. ◀/▶ を押して、ビデオ信号のフォーマットとディスプレイの条件に合わせて適切な縦横比を選択してください。

## 縦横比について

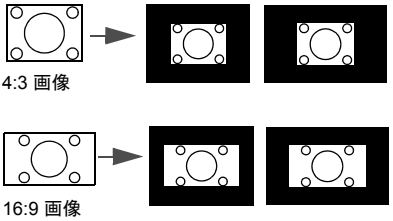
☞ 下の図では黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。

☞ 未使用の黒いエリアには OSD メニューを表示することができます。

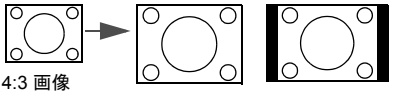
1. **自動**：画像をプロジェクター本来の解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。これは入力画像が 4:3 でも 16:9 でもなく、画像の縦横比を変えずにスクリーンを有効に活用したいときに便利です。



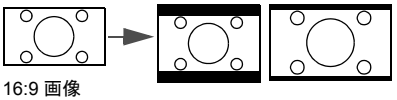

2. **リアル**：画像はその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号では、投写画像はフルスクリーンサイズにリサイズした場合よりも小さいサイズで表示されます。ズーム倍率を調整するか、プロジェクターをスクリーンに近づけると画像サイズを拡大することができます。このような調整を行った後は、プロジェクターのフォーカスを調整し直す必要があるかもしれません。



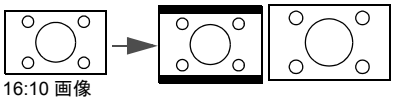

3. **4:3**：スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更せずにすむため、ある種のコンピュータモニター、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 画像に適しています。




4. **16:9**：スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっている画像に適しています。




5. **16:10**：スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更する必要のない、縦横比 16:10 の画像に適しています。



# 画像の最適化

## 壁の色の使い方

白以外でペイントされた壁に画像を投写するような場合は、入力源の色と投写画像の色の違いを補正するために壁の色機能を使うことができます。

この機能を使用するには、**表示** > **壁スクリーン**メニューを開き、◀/▶ を押して投写面の色に最も近い色を選択してください。あらかじめ調整された色には次のようなものがあります：**薄い黄色**、**ピンク**、**薄緑**、**青**、**黒板**。

## ピクチャモードの選択

このプロジェクターは操作環境や入力信号の画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードが設定されています。

用途に合った操作モードを選択するには、次の手順にしたがってください。

- **ピクチャ > ピクチャ モード**メニューに進み、◀/▶ を選択して任意のモードを選択します。

1. **明るくモード**：画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など）。
2. **プレゼンテーションモード**：プレゼンテーションに向いています。このモードでは PC の色に合わせて輝度が強調されます。
3. **sRGB モード**：RGB の純度を最高に上げて、輝度設定に関係なく実物のようなリアルな画像を再現します。このモードは sRGB 対応の正しく調整されたカメラで撮影したフォトを見たり、PC グラフィックや AutoCAD などの描画アプリケーションを見るのに適しています。
4. **シネマモード**：このモードはやや暗めの部屋で、PC 入力を介してデジタルカメラや DV からカラームービーやビデオクリップを再生するのに適しています。
5. **3D モード**：3D 画像および 3D ビデオ クリップを再生するのに適しています。
6. **ユーザー設定 1/ ユーザー設定 2 モード**：現在有効なピクチャモードを元にカスタマイズした設定を呼び出します。詳細は、33 ページの「ユーザー設定 1/ ユーザー設定 2 モードの設定」を参照してください。

### ユーザー設定 1/ ユーザー設定 2 モードの設定

現在有効なピクチャモードが目的に合致しない場合は、2 種類のモードをユーザー定義することができます。ピクチャモードの 1 つ（**ユーザー設定 1/ ユーザー設定 2** 以外）をスターティングポイントとして使用し、そこから設定をカスタマイズすることができます。

1. オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで **MENU** を押してください。
2. **ピクチャ** > **ピクチャ モード**メニューに進みます。
3. ◀/▶ を押して **ユーザー設定 1** または **ユーザー設定 2** を選択します。
4. ▼ を押して、**リファレンス モード**を選択します。

この機能は、**ピクチャ モード**サブメニューアイテムで**ユーザー設定 1** か**ユーザー設定 2** のいずれかのモードが選択されていなければ使用できません。

5. ◀/▶ を押して、用途に最も合ったピクチャモードを選択してください。
6. ▼ を押して変更したいメニューアイテムを選択し、◀/▶ を使って値を調整します。詳細は、「ユーザーモードの画質の微調整」を参照してください。

## ユーザーモードの画質の微調整

検出した信号のタイプと選択した画像モードによって、次の一部の機能は使用できない場合があります。必要であれば、これらの機能を選択し、プロジェクターかリモコンで ◀/▶ を押すとこれらを調整することができます。

### 調整**輝度**

値を高くするほどイメージの輝度が増加します。設定値が小さいほどイメージは暗くなります。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。




### 調整**コントラスト**

値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。




### 調整**色**

設定を下げると、彩度が低くなります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。

### 調整**色調**

値を高くするほど赤みがかった画像になります。値を低くするほど緑がかった画像になります。

### 調整**シャープネス**

値を高くするほど画像がシャープになります。値を低くするほど画像が柔らかくなります。

## 調整 **Brilliant Color**

この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50% 以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高画質なイメージを表示したい場合は、**オン**を選択してください。そうでない場合は、**オフ**を選択してください。

**オフ**に設定されている場合は、**色温度**機能は使用できません。

## 選択**色温度**

色温度設定のオプションは、選択した信号タイプによって異なります。

1. **冷**：画像を青みがかった白で表示します。
2. **ノーマル**：白の色合いを通常に保ちます。
3. **暖**：画像を赤みがかった白で表示します。

## 任意の色温度を設定

任意の色温度を設定するには：

1. **色温度**を選択し、プロジェクターまたはリモコンで ◀/▶ を押して、**暖**、**ノーマル**、**冷**を選択します。
2. ▼ を押して、**色温度の詳細調整**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**色温度の詳細調整**ページが表示されます。
3. ▲/▼ を押して変更したいアイテムを選択し、◀/▶ を押して値を調整します。
   - **R ゲイン /G ゲイン /B ゲイン**：赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。
   - **R オフセット /G オフセット /B オフセット**：赤、緑、青の輝度レベルを調整します。
4. **BACK** を押してメニューを終了し、設定を保存します。

## 3D カラーマネージメント

教室、会議室、ラウンジなど照明が常にオンになっている場所や、外窓から日光が差し込む部屋など、ほとんどの状況ではカラーマネージメントは必要ありません。

重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、カラーマネージメントが必要となります。カラーマネージメントを使用すると、色をより正確に再現するために、より詳細に色を調整することができます。

適切なカラーマネージメントは、操作および管理された状況でのみ行うことができます。この場合、色を測定するために色彩計を使用する必要があり、いくつかの適切なソース画像が必要です。これらのツールはプロジェクターには付いていませんが、販売店や経験豊富な技術者にお尋ねになると入手できるはずです。

カラーマネージメントでは、6 色 (RGBCMY) を調整することができます。それぞれの色を選択すると、その色の範囲と彩度を個別に自在に調整することができます。

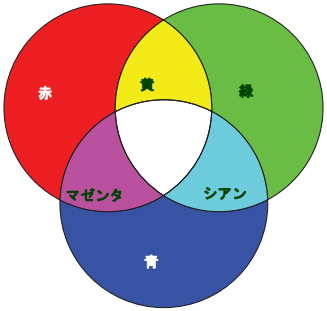
さまざまな色テストパターンが含まれたテストディスクを購入された場合は、モニター、TV、プロジェクターなどでの色表示をテストすることができます。ディスクに保管された画像ならどれでもスクリーンに投写することが可能であり、**3D カラーマネージメント**メニューで調整することができます。

設定を調整するには：

1. **ピクチャ**メニューに進み、**3D カラーマネージメント**を選択します。
2. プロジェクターかリモコンの **OK** を押すと 、**3D カラーマネージメント**ページが開きます。
3. **原色**を選択し、◀/▶ を押して赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの中から色を選択します。
4. ▼ を押して**色相**を選択し、◀/▶ を押して範囲を選択します。範囲を広げると、隣り合う 2 色のより広い範囲の色が含まれます。

   各色がどのように関連し合っているかについては、右図を参照してください。

   例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投写画像の中で純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。




5. ▼ を押して**彩度**を選択し、◀/▶ を押して値を調整します。調整内容は直ちに画像に反映されます。

   例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、純粋な赤の彩度だけが影響を受けます。

**彩度**ビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。

6. ▼ を押して**ゲイン**を選択し、◀/▶ を押して値を調整します。選択した原色のコントラスト レベルが影響を受けます。調整内容は直ちに画像に反映されます。
7. 他のカラーマネージメントも行う場合は、ステップ 3 から 6 を繰り替えしてください。
8. すべて調整が完了したことを確認してください。
9. **BACK** を押してメニューを終了し、設定を保存します。

## 現在またはすべての画像モードをリセットする

1. **ピクチャ**メニューに進み、**画像設定をリセット**を選択します。
2. **OK** を押した後、▲/▼ を押して**現在**または**すべて**を選択します。
   - **現在**：現在の画像モードを工場出荷時の設定に戻します。
   - **すべて**：すべての画像モードを工場出荷時の初期値に戻します。

# プレゼンテーションタイマーの設定

プレゼンテーションタイマーはプレゼンテーション時間をスクリーン上に表示して、発表者が上手く時間管理できるようにします。この機能を使用するには、次の手順にしたがってください。

1. **システム設定**：**基本 > プレゼンテーション タイマー** メニューを開き、**OK** を押して**プレゼンテーション タイマー**ページを表示します。
2. **タイマー間隔**を選択し、◀/▶ を使ってプレゼンテーション時間を設定します。タイマー時間は 1 分から 5 分まで 1 分おきに、5 から 240 分まで 5 分おきに設定できます。

☞ すでにタイマーがオンになっている場合は、タイマー時間をリセットするとタイマーがカウントを新しく開始します。

3. ▼ を押して **タイマー表示**を選択し、◀/▶ を押してスクリーン上にタイマーを表示するかどうかを決定します。

| 選択 | 説明 |
|---|---|
| 常に使用する | プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン上に表示します。 |
| 3 分 /2 分 /1 分 | タイマーを最後の 3/2/1 分間だけ表示します。 |
| 常に使用しない | プレゼンテーション中、タイマーを表示しません。 |

4. ▼ を押して**タイマーの位置**を選択し、◀/▶ を押してタイマーの位置を決定します。

**左上 → 左下 → 右上 → 右下**

5. ▼ を押して**タイマーのカウント方法**を選択し、◀/▶ を押してカウント方向を選択します。

| 選択 | 説明 |
|---|---|
| **増加** | 0 からあらかじめ設定した時間までカウントを重ねます。 |
| **減少** | あらかじめ設定した時間から 0 までカウントダウンします。 |

6. ▼ を押して**サウンドによる通知**を選択し、◀/▶ を押すことによって、サウンドによる通知を有効にするかどうかを決定してください。**オン**を選択すると、カウントダウン / アップが残り 30 秒になると、ビーッという音が 2 回鳴り、タイプアップすると 3 回鳴ります。
7. プレゼンテーションタイマーを有効にするには、▼ を押した後、◀/▶ を押して**オン**を選択し、**OK** を押します。
8. 確認のメッセージが表示されます。**はい**を選択し、プロジェクターかリモコンの **OK** を押して選択肢を確認してください。スクリーン上に**「タイマーはオンです」**というメッセージが表示されます。タイマーがオンになると、タイマーがカウントを開始します。

タイマーを中止するには、次の手順にしたがってください。

1. **システム設定**：**基本 > プレゼンテーション タイマー** メニューに進み、**オフ**を選択します。**OK** を押します。確認のメッセージが表示されます。
2. **はい**を選択して、**OK** を押します。スクリーン上に**「タイマーはオフです」**というメッセージが表示されます。

# リモート ページング操作

ページング機能を使用する前に、USB ケーブルを使ってプロジェクターを PC またはノートブックに接続します。詳細は、18 ページの「接続」を参照してください。

リモコンの **PAGE +/PAGE -** コマンドに応答するディスプレイ ソフトウェア プログラム（Microsoft PowerPoint など）を操作することができます。

リモート ページング機能が正常に作動しない場合は、正しく USB 接続が行われていることと、マウス ドライバが最新のバージョンであることを確認してください。

☞ リモート ページング機能は Microsoft® Windows® 98 では使用できません。Windows® XP 以上のオペレーティング システムを推奨します。

# 画像の静止

リモコンの **FREEZE** 押すと画像が静止します。スクリーンの左上隅に**「FREEZE」**と表示されます。この機能を解除するには、プロジェクターかリモコンでどれでもキーを押してください。

スクリーン上でイメージが静止しても、ビデオやその他の装置で映像は流れ続けています。接続した装置に有効なオーディオが含まれている場合は、画像が静止しても音声は聞くことができます。

# 画像を隠す

**ECO BLANK** を使用するとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。オーディオ入力を使用している場合は、この機能を使用してもサウンドは流れたままになります。

消画時間を**システム設定：基本 > 操作設定 > 画面オフタイマー**メニュー で設定しておくと、消画画面で何も操作が行われないときには、一定時間が経過すると自動的にプロジェクターが画像を表示します。

プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択してください。

**画面オフタイマー** の有効 / 無効に関わらず、プロジェクターかリモコンのほとんどのキーを押すと直ちに画像を戻すことができます。

☞ 投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。

# コントロールキーをロックする

プロジェクターのコントロールキーをロックしておくと、（例えばお子様によって）プロジェクターの設定が誤って変更されるのを防止することができます。**パネル キー ロック**がオンになっているときには、プロジェクターのコントロールキーは ⏻ **電源**を除き、どれも作動しません。

1. **システム設定**：**基本** > **パネル キー ロック**メニューを選択し、プロジェクターまたはリモコンの ◀/▶ を押して**オン**を選択します。確認のメッセージが表示されます。
2. **はい**を選択して、**OK** を押します。

パネルキーロックを解除するには、リモコンを使って**システム設定**：**基本 > パネル キー ロック** メニューに入り、◀/▶ を押して**オフ**を選択することもできます。

パネルキー ロックが有効になっていても、リモコンのキーは使用できます。

パネルキー ロックを無効にせずにプロジェクターをオフにすると、プロジェクターを次回オンにしたときにもロックされたままの状態になっています。

# 高地での操作

海抜 1500 m ～ 3000 m、気温 0 ℃ ～ 30 ℃の環境で本製品を使用する場合は、**高地対応モード**を使用されるようお勧めします。

高度 0 m ～ 1500 m、温度 0 ℃ ～ 35 ℃ の範囲内では**高地対応モード**は使用しないでください。このような環境でこのモードを有効にすると、プロジェクターが過度に冷却されてしまいます。

**高地対応モード**に設定するには：

1. **MENU** を押して、**システム設定**：**詳細**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して、**高地対応モード**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**を選択してください。確認のメッセージが表示されます。
3. **はい**を選択し、**OK** を押します。

**高地対応モード**を選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地対応モードに切り替えてみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。

# サウンドの調整

下記の手順で行うサウンド調整は、プロジェクターのスピーカーで出力されるサウンドに有効です。プロジェクターのオーディオ入力が正しく接続されていることを確認してください。オーディオ入力の接続については、18 ページの「接続」を参照してください。

## 無音にする

ランプを一時的にオフにするには、 を押します。または、

1. **MENU** を押して、**システム設定**：**詳細**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。
2. ▼ を押して**オーディオ設定**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**オーディオ設定**ページが表示されます。
3. **ミュート** を選択し、◀/▶ を押して **オン**を選択してください。

## 音量調整

音量を調整するには、 / を押します。または、

1. 上記のステップ 1-2 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して、**音量**を選択し、次に ◀/▶ を押してサウンド レベルを選択します。

## オフにする**電源オン / オフ音**

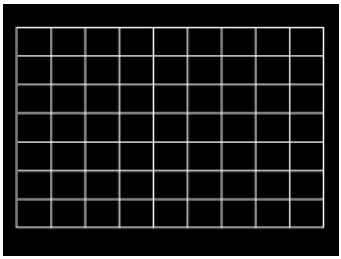
リングの音を切るには：

1. 上記のステップ 1-2 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して、**電源オン / オフ音**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オフ**を選択してください。

☞ **電源オン / オフ音**を変更するには、ここでオンまたはオフに設定するしかありません。無音にしたり、音量を変更したりしても、**電源オン / オフ音**には影響しません。

# テストパターンの使い方

このプロジェクターは格子状のテストパターンを表示できます。これはイメージサイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。



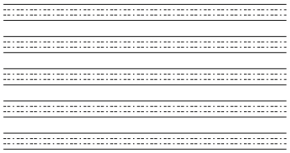
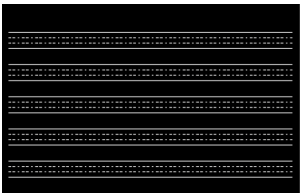
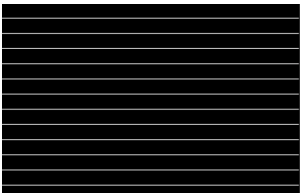
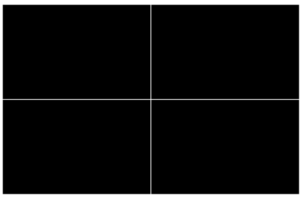
テストパターンを表示するには、次のいずれかの手順にしたがってください。

- リモコンの **QUICK INSTALL** を押します。▼ を押して**テストパターン**を選択し、次に **OK** を押してください。◀/▶ を押して**オン**を選択します。
- OSD メニューを開き、**システム設定**：**詳細** > **テストパターン** を選択して、◀/ ▶ を押した後で、**オン**を選択します。

# 教育テンプレートの使い方

このプロジェクターには、さまざまな学習目的用に、いくつかのプリセット パターンが用意されています。パターンをアクティベートするには：

1. OSD メニューを開き、**表示** > **教育テンプレート** を選択した後で ▲/▼ を押して、**黒板**または**ホワイトボード**を選択します。
2. ◀/▶ を押して必要なパターンを選択します。
3. **OK** を押してパターンをアクティベートします。

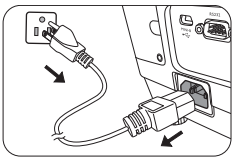
| 教育テンプレート | ホワイトボード | 黒板 |
|---|---|---|
| **英字シート** |  |  |
| **ワークシート** |  |  |
| **座標** |  |  |

# プロジェクターの終了

1. ⏻ **電源**を押すと、確認を促すメッセージが表示されます。
   数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。
2. 再び ⏻ **電源**を押してください。**POWER（電源インジケーターライト）**がオレンジ色に点滅して投写ランプが消灯した後、プロジェクターを冷却するためにファンが約 90 秒間動作を続けます。

⚠ ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。冷却時間を短縮するには、クイック冷却機能を有効にすることもできます。詳細は、50 ページの「クイッククーリング」を参照してください。

3. 冷却が完了すると、**「電源オフ音」**が聞こえます。また **POWER（電源インジケーターライト）**がオレンジ色に点灯し、ファンが停止します。電源コードをコンセントから抜きます。



☞ 電源オン / オフ音をオフにする方法については、39 ページの「オフにする電源オン / オフ音」を参照してください。

☞ プロジェクターが正常にシャットダウンしない場合は、ランプを保護するためにプロジェクターを再起動しようとするとファンが数分間作動して冷却を行います。ファンが停止したら再び ⏻ **電源**を押してプロジェクターを起動してください。このとき **POWER（電源インジケーターライト）**がオレンジ色に点灯します。

☞ ランプの寿命は、環境条件と使用条件により異なります。

# 直接電源オフ

AC 電源コードはプロジェクターをオフにした直後に抜くことができます。ランプを保護するために、約 10 秒間待ってからプロジェクターを再起動してください。プロジェクターを再起動しようとすると、冷却のためにファンが数分間作動する場合があります。このような場合は、ファンが停止したら再び ⏻ **電源**を押してプロジェクターを起動してください。このとき **POWER（電源インジケーターライト）**がオレンジ色に点灯します。

# メニューの操作

## メニュー システム

OSD メニューは、選択した信号のタイプと使用するプロジェクターのモデルにより異なります。

| メイン メニュー | サブメニュー | | オプション |
|---|---|---|---|
| I. 表示 | 壁スクリーン | | オフ / 薄い黄色 / ピンク / 薄緑 / 青 / 黒板 |
| | 縦横比 | | 自動 / リアル /4:3/16:9/16:10 |
| | 自動台形補正 | | オン / オフ |
| | 2D 台形補正 | | |
| | 角合わせ | | |
| | 位置 | | |
| | 位相 | | |
| | 水平サイズ | | |
| | デジタル ズーム | | |
| | 3D | 3D モード | 自動 / 上 - 下 /F. シーケンシャル / フレームパッキング / サイドバイサイド / オフ |
| | | 3D 逆同期 | 無効 / 逆転 |
| | | 3D 設定を保存 | 3D 設定 1/3D 設定 2/3D 設定 3 |
| | | 3D 設定を適用 | 3D 設定 1/3D 設定 2/3D 設定 3/ オフ |
| | 教育テンプレート | 黒板 | オフ / 英字シート / ワークシート / 座標 |
| | | ホワイトボード | オフ / 英字シート / ワークシート / 座標 |

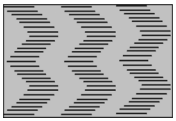
| メイン メニュー | サブメニュー | | オプション |
|---|---|---|---|
| 2. ピクチャ | ピクチャ モード | | 明るく / プレゼンテーション /sRGB/ シネマ /(3D)/ ユーザー設定 1/ ユーザー設定 2 |
| | リファレンス モード | | 明るく / プレゼンテーション /sRGB/ シネマ /(3D) |
| | 輝度 | | |
| | コントラスト | | |
| | 色 | | |
| | 色調 | | |
| | シャープネス | | |
| | Brilliant Color | | オン / オフ |
| | 色温度 | | 冷 / ノーマル / 暖 |
| | 色温度の詳細調整 | | R ゲイン /G ゲイン /B ゲイン / R オフセット /G オフセット / B オフセット |
| | 3D カラーマネージメント | 原色 | R/G/B/C/M/Y |
| | | 色相 | |
| | | 彩度 | |
| | | ゲイン | |
| | 画像設定をリセット | | 現在 / すべて / キャンセル |
| 3. ソース | クイック自動検索 | | オン / オフ |
| | カラースペース転換 | | 自動 /RGB/YUV |
| 4. システム設定：基本 | プレゼンテーション タイマー | タイマー間隔 | 1 ～ 240 分 |
| | | タイマー表示 | 常に使用する /3 分 /2 分 /1 分 / 常に使用しない |
| | | タイマーの位置 | 左上 / 左下 / 右上 / 右下 |
| | | タイマーのカウント方法 | 減少 / 増加 |
| | | サウンドによる通知 | オン / オフ |
| | | オン / オフ | |
| | 言語 | | English / Français / Deutsch Italiano / Español / Русский 繁體中文 /简体中文 /日本語 / 한국어/ Svenska / Nederlands / Türkçe/ Čeština / Português / ไทย / Polski Magyar/ Hrvatski/ Română/ Norsk/ Dansk/ Български/ Suomi/ Indonesian/Ελληνικά / العربية / हिन्दी |

| メイン メニュー | サブメニュー | | オプション |
|---|---|---|---|
| 4. システム設定：基本 | プロジェクタの設置 | | 前面投写 / リア投写 / 天井リア投写 / 天井前面投写 |
| | メニュー設定 | メニュー表示時間 | 5 秒 /10 秒 /20 秒 /30 秒 / 常に使用する |
| | | メニュー位置 | 中央 / 左上 / 右上 / 右下 / 左下 |
| | | アラームメッセージ | オン / オフ |
| | 操作設定 | ダイレクト電源オン | オン / オフ |
| | | 信号入力時電源オン | オン / オフ |
| | | 自動パワーオフ | 無効 /3 分 /10 分 /15 分 /20 分 / 25 分 /30 分 |
| | | クイッククーリング | オン / オフ |
| | | クイック再起動 | オン / オフ |
| | | 画面オフタイマー | 無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 / 25 分 /30 分 |
| | | スリープ タイマー | 無効 /30 分 /1 時間 /2 時間 / 3 時間 /4 時間 /8 時間 /12 時間 |
| | リモート受信装置 | | 正面 + 上 / 正面 / 上 |
| | パネル キー ロック | | オン / オフ |
| | 背景色 | | 黒 / 青 / 紫 /BenQ |
| | スプラッシュ スクリーン | | 黒 / 青 /BenQ |

| メイン メニュー | サブメニュー | | オプション |
|---|---|---|---|
| 5. システム設定：詳細 | 高地対応モード | | オン / オフ |
| | オーディオ設定 | ミュート | オン / オフ |
| | | 音量 | |
| | | 電源オン / オフ音 | オン / オフ |
| | ランプ設定 | ランプ モード | ノーマル / 省電力 /SmartEco/ LampSave |
| | | タイマーのリセット | |
| | | ランプ タイマー | |
| | セキュリティ設定 | パスワードの変更 | |
| | | セキュリティ設定の変更 | 電源ロック |
| | ボーレート | | 2400/4800/9600/14400/19200/ 38400/57600/115200 |
| | テストパターン | | オン / オフ |
| | クローズドキャプション | クローズドキャプション有効 | オン / オフ |
| | | キャプションバージョン | CC1/CC2/CC3/CC4 |
| | 待機設定 | モニター出力 | オン / オフ |
| | | オーディオ パススルー | オフ / オーディオ入力 / 音声 L/R/ HDMI-1/HDMI-2 |
| | 全設定クリア | | リセット / キャンセル |
| 6. 情報 | 現在のシステム状態 | | • ソース<br>• ピクチャ モード<br>• ランプ モード<br>• 解像度<br>• 3D 形式<br>• カラー システム<br>• ランプ使用時間<br>• ファームウェアバージョン |

メニューアイテムはプロジェクターが最低 1 つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクターに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。

# 各メニューの説明

| 機能 | | 説明 |
|---|---|---|
| 1. 表示メニュー | 壁スクリーン | 白以外の投写壁に投写するときに、投写画像の色を補正します。詳細は、32 ページの「壁の色の使い方」を参照してください。 |
| | 縦横比 | 入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するいくつかのオプションがあります。詳細は、30 ページの「縦横比の選択」を参照してください。 |
| | 自動台形補正 | イメージのキーストーンを補正します。詳細は、24 ページの「キーストーンの補正」を参照してください。 |
| | 2D 台形補正 | |
| | 角合わせ | 詳細は、25 ページの「角合わせ」を参照してください。 |
| | 位置 | 位置調整ページが開きます。投写画像を移動させるには、方向矢印キーを使用します。ページの下に表示される値は、キーを押すたびにその最高値または最低値に達するまで変化します。<br>☞ この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。 |
| | 位相 | 画像の歪みを減少させるためにクロック位相を調整します。<br><br>☞ この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。 |
| | 水平サイズ | イメージの幅を調整します。<br>☞ この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。 |
| | デジタル ズーム | 投写画像のサイズを拡大または縮小します。詳細は、30 ページの「詳細の拡大と検索」を参照してください。 |

| 機能 | | 説明 |
|---|---|---|
| 1. 表示 メニュー | 3D | このプロジェクターには、画像に深みを与えることで 3D ムービー、動画、スポーツイベントをよりリアルにご覧いただける 3D 機能が搭載されています。3D 映像をご覧になるには、3D メガネを着用する必要があります。<br>**3D モード**<br>デフォルト設定は**自動**で、3D コンテンツが検出された場合はプロジェクターが自動的に適切な 3D フォーマットを選択します。プロジェクターが 3D フォーマットを識別できない場合は、▲/▼ を押して 3D モードを選択してください。<br>**3D** 機能がオンのとき：<br>• 投写画像の輝度レベルが下がります。<br>• **ピクチャ モード**は調整できません。<br>**3D 逆同期**<br>画像の深さが逆転している場合は、この機能を有効にすると問題を解決できます。<br>**3D 設定を保存**<br>調節後に 3D コンテンツを表示できたらこの機能を有効にして、現在の 3D 設定を保存するために 3D 設定を選択することができます。<br>**3D 設定を適用**<br>3D 設定を保存した後は、保存した 3D 設定を選択することでそれを適用するかどうかを決定できます。適用後は、入力 3D コンテンツが保存した 3D 設定と一致する場合、プロジェクターは自動的に再生を開始します。<br>保存されたデータを持つ 3D 設定のみ使用可能です。 |
| | **教育テンプレート** | 詳細は、40 ページの「教育テンプレートの使い方」を参照してください。 |

| | 機能 | 説明 |
|---|---|---|
| 2. ピクチャ メニュー | ピクチャ モード | あらかじめ定義したピクチャモードを利用すると、ご使用のプログラムタイプに最適なプロジェクターの画像を設定することができます。詳細は、32 ページの「ピクチャモードの選択」を参照してください。 |
| | リファレンス モード | 必要な画質に最も合ったピクチャモードを選択し、下の同じページで選択リストにしたがって画像を微調整します。詳細は、33 ページの「ユーザー設定 1/ ユーザー設定 2 モードの設定」を参照してください。 |
| | 輝度 | イメージの輝度を調整します。詳細は、33 ページの「調整輝度」を参照してください。 |
| | コントラスト | イメージの明るさと暗さの差を調整します。詳細は、33 ページの「調整コントラスト」を参照してください。 |
| | 色 | 彩度レベル、つまりビデオ画像の各色の量を調整します。詳細は、33 ページの「調整色」を参照してください。<br>☞ この機能はビデオ、S ビデオまたはコンポーネント ビデオ信号が選択されている場合にしか使用できません。 |
| | 色調 | 画像の赤と緑の色調を調整します。詳細は、33 ページの「調整色調」を参照してください。<br>☞ この機能はビデオまたは S ビデオ信号が選択され、システムフォーマットが NTSC の場合にしか使用できません。 |
| | シャープネス | イメージがシャープまたはソフトになるように調整します。詳細は、33 ページの「調整シャープネス」を参照してください。<br>☞ この機能はビデオ、S ビデオまたはコンポーネント ビデオ信号が選択されている場合にしか使用できません。 |
| | Brilliant Color | 詳細は、34 ページの「調整 Brilliant Color」を参照してください。 |
| | 色温度 | 詳細は、34 ページの「選択色温度」を参照してください。 |
| | 色温度の詳細調整 | 詳細は、34 ページの「任意の色温度を設定」を参照してください。 |
| | 3D カラーマネージメント | 詳細は、34 ページの「3D カラーマネージメント」を参照してください。 |
| | 画像設定をリセット | 詳細は、35 ページの「現在またはすべての画像モードをリセットする」を参照してください。 |

| | 機能 | 説明 |
|---|---|---|
| 3. ソース メニュー | クイック自動検索 | 詳細は、29 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。 |
| | カラースペース転換 | 詳細は、29 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。 |
| 4. システム設定：基本 メニュー | プレゼンテーション タイマー | プレゼンテーション発表者に残りの持ち時間を知らせます。詳細は、36 ページの「プレゼンテーションタイマーの設定」を参照してください。 |
| | 言語 | オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。詳細は、26 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。 |
| | プロジェクタの設置 | プロジェクターは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数の鏡を使用して設置することができます。詳細は、15 ページの「場所の選択」を参照してください。 |
| | メニュー設定 | **メニュー表示時間**<br>最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。<br>**メニュー位置**<br>オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。<br>**アラームメッセージ**<br>アラーム メッセージをオンまたはオフにします。 |

| 機能 | | 説明 |
|---|---|---|
| 4. システム設定：基本 メニュー | 操作設定 | **ダイレクト電源オン**<br>電源コードから電源が供給されると、プロジェクターは自動的にオンになります。<br><br>**信号入力時電源オン**<br>プロジェクターがスタンバイ モードになっており、VGA ケーブルを介して信号が入力されているときに**電源**または**オン**を押さなくてもプロジェクターを直接オンにするかどうかを設定します。<br><br>**自動パワーオフ**<br>指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときに、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。詳細は、54 ページの「設定自動パワーオフ」を参照してください。<br><br>**クイッククーリング**<br>クイック冷却機能を有効または無効にします。**オン**を選択するとこの機能が有効になり、プロジェクターの冷却時間が通常の 90 秒よりも短くなり 15 秒程度で冷却が終了します。<br><br>☞ この機能は **クイック再起動** がオフのときにしか使用できません。<br><br>**クイック再起動**<br>**オン**を選択すると、プロジェクターをオフにしてから 90 秒以内に再起動することができます。<br><br>**画面オフタイマー**<br>ブランク機能が有効になっているとき、画像をブランクにしておく時間を選択します。ここで設定した時間が経過すると、画像は元に戻ります。詳細は、37 ページの「画像を隠す」を参照してください。<br><br>**スリープ タイマー**<br>自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。 |
| | リモート受信装置 | プロジェクターのすべてのリモート受信機、または特定のリモート受信機を有効にします。 |
| | パネル キー ロック | ⏻ **電源**以外のプロジェクターのすべてのパネルキー機能と、リモコンのキーを無効または有効にします。詳細は、38 ページの「コントロールキーをロックする」を参照してください。 |
| | 背景色 | プロジェクターの背景色を設定します。 |
| | スプラッシュ スクリーン | プロジェクター起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。 |

| | 機能 | 説明 |
|---|---|---|
| 5. システム設定：詳細 メニュー | **高地対応モード** | 高地で使用する場合の操作モードです。詳細は、38 ページの「高地での操作」を参照してください。 |
| | **オーディオ設定** | 詳細は、39 ページの「サウンドの調整」を参照してください。 |
| | **ランプ設定** | **ランプ モード**<br>詳細は、54 ページの「設定ランプ モード」を参照してください。<br>**タイマーのリセット**<br>詳細は、58 ページの「ランプタイマーをリセットします」を参照してください。<br>**ランプ タイマー**<br>ランプの使用時間を計算する方法については、54 ページの「ランプ時間を知るには」を参照してください。 |
| | **セキュリティ設定** | 詳細は、27 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。 |
| | **ボーレート** | 適切な RS-232 ケーブルを使ってプロジェクターをコンピュータに接続し、プロジェクターのファームウェアを更新またはダウンロードできるように、ボーレートはコンピュータと同じ値に設定してください。この機能は専門の技術者用に設けられています。 |
| | **テストパターン** | 詳細は、39 ページの「テストパターンの使い方」を参照してください。 |
| | **クローズドキャプション** | **クローズドキャプション有効**<br>選択した入力信号にクローズド キャプションがある場合は、**オン**を選択すると機能が有効になります。<br>• キャプション：TV 番組や動画のダイアログ、ナレーション、サウンド効果が画面に表示されます（TV 番組表には通常「CC」と表記されます）。<br>**キャプションバージョン**<br>クローズド キャプション モードを選択します。キャプションを表示するには、CC1、CC2、CC3、CC4（CC1 はキャプションをその地域の第一言語で表示します）を選択します。 |

| 機能 | | 説明 |
|---|---|---|
| 5. システム設定：詳細 メニュー | 待機設定 | **モニター出力**<br>**オン**を選択すると、機能が有効になります。このプロジェクターはスタンバイモードで、**PC** ジャックが正しく装置と接続されている場合、VGA 信号を出力できます。接続方法については、18 ページの「接続」を参照してください。<br>**オーディオ パス スルー**<br>◀/▶ を押して、操作モードで使用したいソースを選択してください。接続方法については、18 ページの「接続」を参照してください。各端末が正しくデバイスに接続されていると、プロジェクターがスタンバイモードのときに、外部スピーカーにオーディオ信号を出力します。内蔵スピーカーは、スタンバイ モードでは無音になります。<br>☞ この機能を有効にすると、スタンバイ時の電力消費量を若干低減することができます。 |
| | 全設定クリア | すべての設定を工場出荷時の値に戻します。<br>☞ 次の設定は現在の設定値のまま維持されます。**2D 台形補正**、**ユーザー設定 1**、**ユーザー設定 2**、**リファレンス モード**、**3D カラーマネージメント**、**画像設定をリセット**、**プロジェクタの設置**、**言語**、**高地対応モード**、**セキュリティ設定**、**ボーレート**、**角合わせ**、**ランプ タイマー**。 |
| 6. 情報 メニュー | 現在のシステム状態 | **ソース**<br>現在の信号ソースを表示します。<br>**ピクチャ モード**<br>**ピクチャ**メニューで選択したモードを表示します。<br>**ランプ モード**<br>現在のランプ モードが表示されます。<br>**解像度**<br>入力信号のネイティブ解像度を表示します。<br>**3D 形式**<br>現在の 3D モードが表示されます。<br>**カラー システム**<br>入力システムフォーマットを表示します。<br>**ランプ使用時間**<br>ランプの使用時間数が表示されます。<br>**ファームウェアバージョン**<br>プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。 |

# メンテナンス

## プロジェクターのお手入れ

ご使用のプロジェクターはほとんどメンテナンスの必要がありません。レンズとケースを清潔に保つために、定期的なお手入れだけが必要です。

プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。ランプ以外の交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。

### レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクターをオフにして完全に冷却してください。

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

### プロジェクター ケースのお手入れ

ケースのお手入れを行う前に、41 ページの「プロジェクターの終了」に記載されている正しい手順でプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

⚠ ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

### プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、61 ページの「仕様」を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- 調整脚をおさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

### プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

# ランプについて

## ランプ時間を知るには

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ランプ時間の計算方法は次の通りです。

ランプ使用時間 =（**ノーマル**モードで使用した時間）+（**省電力**モードで使用した時間）+ **SmartEco** モードで使用した時間）+（**LampSave** モードで使用した時間）

合計（相当）ランプ時間 = 2.50 x（**ノーマル**モードで使用した時間）+ 1.875 x（**省電力**モードで使用した時間）+ 1.25 x（**SmartEco** モードで使用した時間）+ 1.00 x（**LampSave** モードで使用した時間）

ランプ時間を確認する：

1. **MENU** を押した後、◀/▶ を押して **システム設定**：**詳細**メニューを選択します。
2. ▼ を押して**ランプ設定**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**ランプ設定**ページが表示されます。
3. ここでメニューに表示された**ランプ タイマー**情報を見ることができます。
4. メニューを終了するには、**MENU** を押します。

また、**情報**メニューではランプ時間情報を見ることもできます。

## ランプ寿命を延長する

プロジェクターのランプは消耗品です。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

- **設定ランプ モード**

プロジェクターを**省電力**、**SmartEco** または **LampSave** モードで使用すると、ランプを長くお使いいただけます。これを実行するには、**システム設定**：**詳細** > **ランプ設定** > **ランプ モード**メニューに進み、◀/▶ を押します。

| ランプモード | 説明 |
|---|---|
| **ノーマル** | ランプを完全に明るくします |
| **省電力** | 明るさを下げて、ランプを長く使えるようにします。また、ファンのノイズも小さくなります |
| **SmartEco** | コンテンツの輝度レベルによっては電力消費量を調整します |
| **LampSave** | ランプ電源を自動調整し、輝度を下げてランプを長く使えるようにします |

- **設定自動パワーオフ**

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

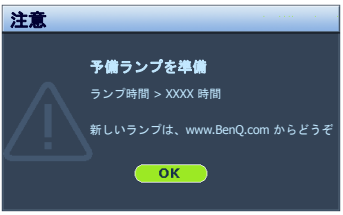
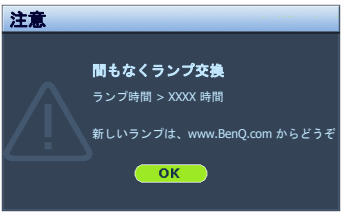
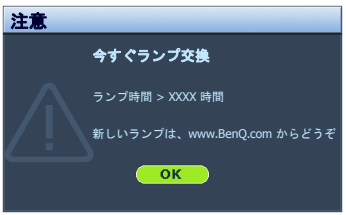
**自動パワーオフ**に設定するには、**システム設定**：**基本** > **操作設定** > **自動パワーオフ**メニューに進み、◀/▶ を押します。プリセットの時間がこれから行うプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択してください。この場合、一定時間が経過してもプロジェクターは自動的にシャットダウンしません。

# ランプを交換する時期

**ランプインジケーター**が赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付ける前に、お買い上げの販売店にお尋ねになるか、http://www.BenQ.com をご覧ください。古いランプを使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

ランプが過熱すると、**LAMP（ランプインジケーターライト）**と **TEMP（温度警告ライト）**が点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクターを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときに「Lamp」（ランプ）インジケーターまたは「Temp」（温度）インジケーターが点灯する場合は、販売店にご相談ください。詳細は、59 ページの「インジケーター」を参照してください。

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

| 状態 | メッセージ |
|---|---|
| 動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。通常プロジェクターを**省電力**モードで起動している場合は（54 ページの「ランプ時間を知るには」を参照してください）、次のランプ警告メッセージが表示されるまでプロジェクターを使用することができます。<br><br>**OK** を押すと、メッセージが消去されます。 |  |
| この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な状態です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。<br><br>**OK** を押すと、メッセージが消去されます。 |  |
| プロジェクターを正常に動作させるには、ランプを交換してください。<br><br>**OK** を押すと、メッセージが消去されます。 | <br> |

上記のメッセージで「XXXX」の部分に表示される数字はモデルによって異なります。

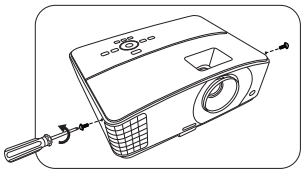
# ランプの交換

⚠ 警告：

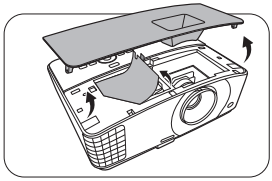
- 感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクターの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。
- 重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクターを冷却してください。
- 割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。
- 指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプ ケースには触れないでください。
- このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。
- プロジェクターを最高の状態でご使用いただくために、交換用ランプとして指定されたプロジェクター用ランプを購入されることをお薦めします。
- 天井に上下逆さに取り付けられているプロジェクターのランプを交換する場合は、ランプの破片で人体や目に負傷する危険性がありますので、ランプソケットの下には絶対に立たないでください。
- 破損したランプを処理するときには、部屋の通気をしっかりと行ってください。マスク、防護メガネ、ゴーグル、またはフェースシールドを着用になり、手袋など身体を保護するものも着用することをお勧めします。

1. 電源をオフにして、プロジェクターをコンセントから抜きます。ランプが熱すぎるときには、ランプが冷却されるまで約 45 分間待ってください。

2. ランプカバーをプロジェクターの側面に固定しているネジを緩めます。



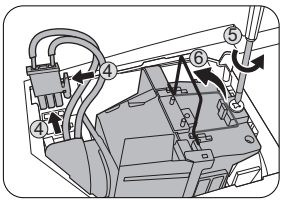
3. プロジェクターからランプ カバーを外します。



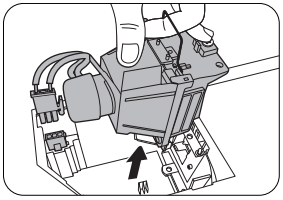
⚠ 警告：

- ランプ カバーを外した状態で電源を入れないでください。
- ランプとプロジェクターの間に指を入れないでください。プロジェクター内部の鋭利なパーツでケガをする場合があります。

4. ランプ コネクタを外します。
5. ランプを固定しているネジを緩めます。
6. ハンドルを持ち上げます。



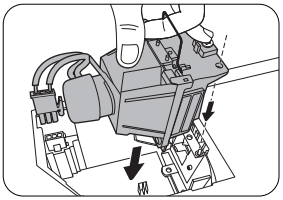
7. ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクターから引き出します。



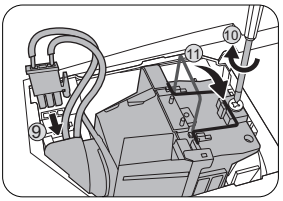
⚠ 警告：

- 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクター内に散乱します。
- 取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り出す際は、プロジェクター内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに手を触れると、色が均等に表示されなくなったり、投写画像が歪んだりする場合があります。

8. 図に示す通り、新しいランプを下ろしてください。



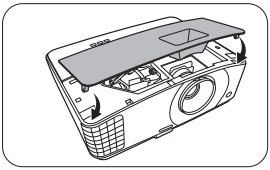
9. ランプ コネクタを挿入します。
10. ランプを固定するネジを締めます。
11. ハンドルをフラットに倒して、しっかりとロックしてください。



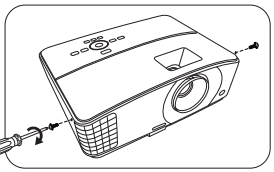

⚠ 警告：

- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。

12. プロジェクターにランプ カバーを戻します。



13. ランプ カバーを固定するネジを締めます。



⚠ 警告：

- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。

14. 電源を接続し、プロジェクターを再起動します。

⚠ ランプ カバーを外した状態で電源を入れないでください。

ランプタイマーをリセットします

15. スタートアップロゴの次にオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが表示されます。**システム設定**：**詳細** > **ランプ設定** メニューに進みます。**OK** を押します。すると**ランプ設定**ページが表示されます。**タイマーのリセット**を選択してください。ランプタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。**リセット**を選択し、**OK** を押します。するとランプ時間が 0 にリセットされます。

⚠ ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。

# インジケーター

| ライト | | | 状態と説明 |
|---|---|---|---|
| POWER | TEMP | LAMP | |
| **電源の状況** | | | |
| **オレンジ** | **オフ** | **オフ** | スタンバイ モードです |
| **緑<br>に点滅** | **オフ** | **オフ** | 電源を入れています |
| **緑** | **オフ** | **オフ** | 通常動作状態です |
| **オレンジ<br>に点滅** | **オフ** | **オフ** | 通常の電源オフ冷却 |
| **赤<br>に点滅** | **赤<br>に点滅** | **赤<br>に点滅** | ダウンロード |
| **緑** | **オフ** | **赤** | CW スタート失敗 |
| **赤<br>に点滅** | **オフ** | **オフ** | スケーラー シャットダウン失敗（データ中止） |
| **赤** | **オフ** | **赤** | スケーラー リセット失敗（ビデオ プロジェクターのみ） |
| **緑** | **オフ** | **オフ** | 書き込みオン |
| **緑** | **緑** | **緑** | 書き込みオフ |
| **ランプの状況** | | | |
| **オフ** | **オフ** | **赤** | 通常動作時にランプ 1 エラー発生 |
| **オフ** | **オフ** | **オレンジ<br>に点滅** | ランプが点灯していません |
| **緑** | **オフ** | **オレンジ** | ランプが切れました |
| **オフ** | **緑** | **赤** | ランプカバーが開いています |
| **温度の状況** | | | |
| **赤** | **赤** | **オフ** | ファン 1 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー） |
| **赤** | **赤<br>に点滅** | **オフ** | ファン 2 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー） |
| **赤** | **緑** | **オフ** | ファン 3 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー） |
| **赤** | **緑<br>に点滅** | **オフ** | ファン 4 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー） |
| **緑** | **赤** | **オフ** | 温度 1 エラー（上限温度オーバー） |

# トラブルシューティング

## ? プロジェクターの電源がオンにならない

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| 電源コードから電源が来ていません。 | 電源コードをプロジェクターの電源ジャックとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっているかを確認してください。 |
| 冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。 | 冷却プロセスが完了するまでお待ちください。 |

## ? 画像が映らない

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。 | ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 |
| プロジェクターが正しく入力信号機器に接続されていません。 | 接続を確認します。 |
| 入力信号が正しく選択されていません。 | プロジェクターまたはリモコンの **SOURCE** キーで正しい入力信号を選択します。 |
| レンズカバーが閉じられたままです。 | レンズカバーを外してください。 |

## ? イメージがぼやける

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| 投写レンズの焦点が合っていません。 | フォーカスリングで焦点を合わせてください。 |
| プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。 | 投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。 |
| レンズカバーが閉じられたままです。 | レンズカバーを外してください。 |

## ? リモコンが機能しない

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| 電池が切れています。 | 電池を新しい電池に交換します。 |
| リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。 | 障害物を取り除いてください。 |
| プロジェクターからの距離が遠すぎます。 | プロジェクターから 8 メートル（26 フィート）以内の場所に立ちます。 |

## ? パスワードが間違っている

| 原因 | 対応 |
|---|---|
| 入力したパスワードが正しくありません。 | 詳細は、28 ページの「パスワードの呼び戻しを行うには」を参照してください。 |

# 仕様

## プロジェクターの仕様

仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

### 光学仕様

解像度
**MX704**：1024 x 768 XGA
**MW705**：1280 x 800 WXGA

ディスプレイ システム
1-CHIP DMD

レンズ
F = 2.56 ~ 2.68、f = 22.0 ~ 24.1 mm

明瞭なフォーカス範囲
**MX704**：
2.38–7.15 m @ ワイド、
2.62–7.87 m @ 望遠
**MW705**：
2–6 m @ ワイド、
2.2–6.6 m @ 望遠

ランプ
240 W ランプ

### 電気仕様

電源
AC100–240 V、3.5 A、50–60 Hz（自動）

電力消費量
370 W（最大）、< 0.5 W（スタンバイ）

### 機械仕様

重量
3.0 Kg (6.61 lbs)

### 出力端子

RGB 出力
D-Sub 15-pin（メス）x 1

スピーカー
（ステレオ）2 W x 1

自動信号出力
オーディオジャック x 1

### 制御

RS-232 シリアル コントロール
9 pin x 1

IR 受信機 x 2

### 入力端子

コンピュータ入力
RGB 入力
D-Sub 15-pin（メス）x 1

ビデオ信号入力
S-VIDEO
Mini DIN 4-pin ポート x 1
VIDEO
RCA ジャック x 1
SD/HDTV 信号入力
アナログ - Component RCA ジャック x 3（RGB 入力経由）
デジタル - HDMI x 1、HDMI/MHL x 1

オーディオ信号入力
オーディオ入力
PC オーディオ ジャック x 1
RCA オーディオ ジャック (L/R) x 1

USB ポート（Type-A x 1、Mini-B x 1）

### 環境要件

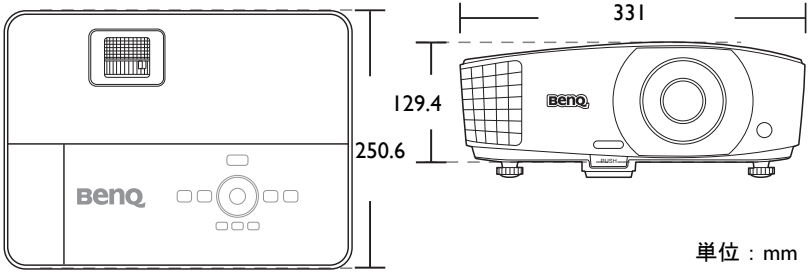
動作温度範囲
0°C–40°C（海抜）

動作相対湿度
10%–90%（結露なきこと）

動作高度
0°C–35°C のとき 0–1499 m
0°C–30°C のとき 1500–3000 m
（高地対応モードオン）

# 外形寸法

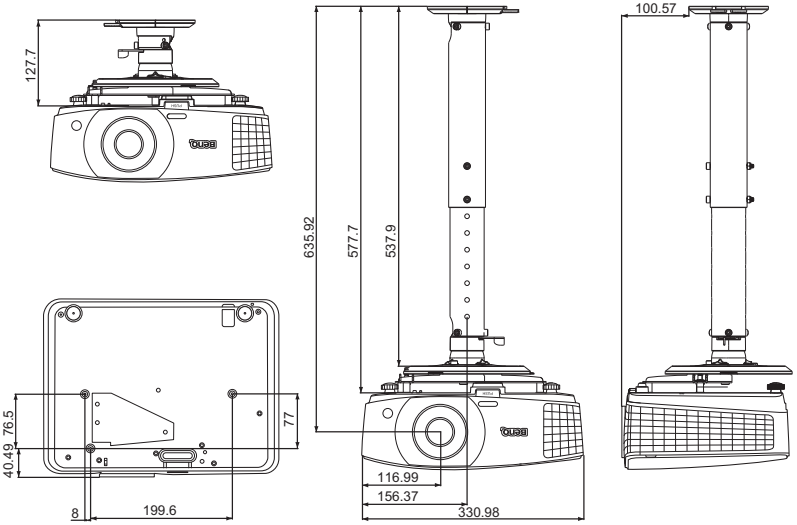
331 mm（幅）x 129.4 mm（高さ）x 250.6 mm（奥行き）




単位：mm

# 天井取り付け

天井取り付けネジ：M4（最長 = 25 mm、最短 = 20 mm）




単位：mm

# タイミングチャート

## サポートされる PC 入力のタイミング

| 解像度 | モード | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) |
|---|---|---|---|---|
| 640 x 480 | VGA_60* | 59.940 | 31.469 | 25.175 |
| | VGA_72 | 72.809 | 37.861 | 31.500 |
| | VGA_75 | 75.000 | 37.500 | 31.500 |
| | VGA_85 | 85.008 | 43.269 | 36.000 |
| 720 x 400 | 720 x 400_70 | 70.087 | 31.469 | 28.3221 |
| 800 x 600 | SVGA_60* | 60.317 | 37.879 | 40.000 |
| | SVGA_72 | 72.188 | 48.077 | 50.000 |
| | SVGA_75 | 75.000 | 46.875 | 49.500 |
| | SVGA_85 | 85.061 | 53.674 | 56.250 |
| | SVGA_120** (Reduce Blanking) | 119.854 | 77.425 | 83.000 |
| 1024 x 768 | XGA_60* | 60.004 | 48.363 | 65.000 |
| | XGA_70 | 70.069 | 56.476 | 75.000 |
| | XGA_75 | 75.029 | 60.023 | 78.750 |
| | XGA_85 | 84.997 | 68.667 | 94.500 |
| | XGA_120** (Reduce Blanking) | 119.989 | 97.551 | 115.5 |
| 1152 x 864 | 1152 x 864_75 | 75 | 67.5 | 108 |
| 1024 x 576 | BenQ Notebook_timing | 60.0 | 35.820 | 46.966 |
| 1024 x 600 | BenQ Notebook_timing | 64.995 | 41.467 | 51.419 |
| 1280 x 720 | 1280 x 720_60* | 60 | 45.000 | 74.250 |
| 1280 x 768 | 1280 x 768_60* | 59.87 | 47.776 | 79.5 |
| 1280 x 800 | WXGA_60* | 59.810 | 49.702 | 83.500 |
| | WXGA_75 | 74.934 | 62.795 | 106.500 |
| | WXGA_85 | 84.880 | 71.554 | 122.500 |
| | WXGA_120** (Reduce Blanking) | 119.909 | 101.563 | 146.25 |
| 1280 x 1024 | SXGA_60*** | 60.020 | 63.981 | 108.000 |
| | SXGA_75 | 75.025 | 79.976 | 135.000 |
| | SXGA_85 | 85.024 | 91.146 | 157.500 |
| 1280 x 960 | 1280 x 960_60*** | 60.000 | 60.000 | 108.000 |
| | 1280 x 960_85 | 85.002 | 85.938 | 148.500 |
| 1360 x 768 | 1360 x 768_60*** | 60.015 | 47.712 | 85.5 |
| 1440 x 900 | WXGA+_60*** | 59.887 | 55.935 | 106.500 |
| 1400 x 1050 | SXGA+_60*** | 59.978 | 65.317 | 121.750 |
| 1600 x 1200 | UXGA*** | 60.000 | 75.000 | 162.000 |
| 1680 x 1050 | 1680 x 1050_60*** | 59.954 | 65.29 | 146.25 |
| 640 x 480@67 Hz | MAC13 | 66.667 | 35.000 | 30.240 |
| 832 x 624@75 Hz | MAC16 | 74.546 | 49.722 | 57.280 |
| 1024 x 768@75 Hz | MAC19 | 74.93 | 60.241 | 80.000 |
| 1152 x 870@75 Hz | MAC21 | 75.060 | 68.680 | 100.000 |
| 1920 x 1080@60 Hz | 1920 x 1080_60 (Reduce blanking) | 60 | 67.5 | 148.5 |
| 1920 x 1200@60 Hz | 1920 x 1200_60 (Reduce blanking) | 59.95 | 74.038 | 154 |

*F. シーケンシャル、上 - 下、サイドバイサイドフォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

**F. シーケンシャルフォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

*** 上 - 下およびサイドバイサイドフォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

## サポートされる HDMI (HDCP) 入力のタイミング

| 解像度 | モード | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) |
|---|---|---|---|---|
| 640 x 480 | VGA_60* | 59.940 | 31.469 | 25.175 |
| | VGA_72 | 72.809 | 37.861 | 31.500 |
| | VGA_75 | 75.000 | 37.500 | 31.500 |
| | VGA_85 | 85.008 | 43.269 | 36.000 |
| 720 x 400 | 720 x 400_70 | 70.087 | 31.469 | 28.3221 |
| 800 x 600 | SVGA_60* | 60.317 | 37.879 | 40.000 |
| | SVGA_72 | 72.188 | 48.077 | 50.000 |
| | SVGA_75 | 75.000 | 46.875 | 49.500 |
| | SVGA_85 | 85.061 | 53.674 | 56.250 |
| | SVGA_120** (Reduce Blanking) | 119.854 | 77.425 | 83.000 |
| 1024 x 768 | XGA_60* | 60.004 | 48.363 | 65.000 |
| | XGA_70 | 70.069 | 56.476 | 75.000 |
| | XGA_75 | 75.029 | 60.023 | 78.750 |
| | XGA_85 | 84.997 | 68.667 | 94.500 |
| | XGA_120** (Reduce Blanking) | 119.989 | 97.551 | 115.5 |
| 1152 x 864 | 1152 x 864_75 | 75 | 67.5 | 108 |
| 1024 x 576@60 Hz | BenQ Notebook Timing | 60.00 | 35.820 | 46.996 |
| 1024 x 600@65 Hz | BenQ Notebook Timing | 64.995 | 41.467 | 51.419 |
| 1280 x 720 | 1280 x 720_60* | 60 | 45.000 | 74.250 |
| 1280 x 768 | 1280 x 768_60* | 59.870 | 47.776 | 79.5 |
| 1280 x 800 | WXGA_60* | 59.810 | 49.702 | 83.500 |
| | WXGA_75 | 74.934 | 62.795 | 106.500 |
| | WXGA_85 | 84.880 | 71.554 | 122.500 |
| | WXGA_120** (Reduce Blanking) | 119.909 | 101.563 | 146.25 |
| 1280 x 1024 | SXGA_60*** | 60.020 | 63.981 | 108.000 |
| | SXGA_75 | 75.025 | 79.976 | 135.000 |
| | SXGA_85 | 85.024 | 91.146 | 157.500 |
| 1280 x 960 | 1280 x 960_60*** | 60.000 | 60.000 | 108 |
| | 1280 x 960_85 | 85.002 | 85.938 | 148.500 |
| 1360 x 768 | 1360 x 768_60*** | 60.015 | 47.712 | 85.500 |
| 1440 x 900 | WXGA+_60*** | 59.887 | 55.935 | 106.500 |
| 1400 x 1050 | SXGA+_60*** | 59.978 | 65.317 | 121.750 |
| 1600 x 1200 | UXGA*** | 60.000 | 75.000 | 162.000 |
| 1680 x 1050 | 1680 x 1050_60*** | 59.954 | 65.290 | 146.250 |
| 640 x 480@67 Hz | MAC13 | 66.667 | 35.000 | 30.240 |
| 832 x 624@75 Hz | MAC16 | 74.546 | 49.722 | 57.280 |
| 1024 x 768@75 Hz | MAC19 | 74.93 | 60.241 | 80.000 |
| 1152 x 870@75 Hz | MAC21 | 75.06 | 68.68 | 100.00 |
| 1920 x 1080@60 Hz | 1920 x 1080_60 (Reduce blanking) | 60 | 67.5 | 148.5 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1920 x 1200@60 Hz | 1920 x 1200_60 (Reduce blanking) | 59.95 | 74.038 | 154 |

☞ ***F. シーケンシャル**、**上 - 下**、**サイドバイサイド**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

****F. シーケンシャル**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

***** **上 - 下**および**サイドバイサイド**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

☞ 上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

| タイミング | 解像度 | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) |
|---|---|---|---|---|
| 480i* | 720 x 480 | 59.94 | 15.73 | 27 |
| 480p* | 720 x 480 | 59.94 | 31.47 | 27 |
| 576i | 720 x 576 | 50 | 15.63 | 27 |
| 576p | 720 x 576 | 50 | 31.25 | 27 |
| 720/50p** | 1280 x 720 | 50 | 37.5 | 74.25 |
| 720/60p*** | 1280 x 720 | 60 | 45.00 | 74.25 |
| 1080/50i**** | 1920 x 1080 | 50 | 28.13 | 74.25 |
| 1080/60i**** | 1920 x 1080 | 60 | 33.75 | 74.25 |
| 1080/24P** | 1920 x 1080 | 24 | 27 | 74.25 |
| 1080/25P | 1920 x 1080 | 25 | 28.13 | 74.25 |
| 1080/30P | 1920 x 1080 | 30 | 33.75 | 74.25 |
| 1080/50P***** | 1920 x 1080 | 50 | 56.25 | 148.5 |
| 1080/60P***** | 1920 x 1080 | 60 | 67.5 | 148.5 |

☞ ***F. シーケンシャル**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

** **フレームパッキング**、**上 - 下**、**サイドバイサイド**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

***F. シーケンシャル**、**フレームパッキング**、**上 - 下**、**サイドバイサイド**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

**** **サイドバイサイド**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

***** **上 - 下**および**サイドバイサイド** フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

## コンポーネント $YP_bP_r$ 入力用にサポートされているタイミング

| タイミング | 解像度 | 垂直周波数 (Hz) | 水平周波数 (kHz) | ピクセル周波数 (MHz) |
|---|---|---|---|---|
| 480i* | 720 x 480 | 59.94 | 15.73 | 13.5 |
| 480p* | 720 x 480 | 59.94 | 31.47 | 27 |
| 576i | 720 x 576 | 50 | 15.63 | 13.5 |
| 576p | 720 x 576 | 50 | 31.25 | 27 |
| 720/50p | 1280 x 720 | 50 | 37.5 | 74.25 |
| 720/60p* | 1280 x 720 | 60 | 45.00 | 74.25 |
| 1080/50i | 1920 x 1080 | 50 | 28.13 | 74.25 |
| 1080/60i | 1920 x 1080 | 60 | 33.75 | 74.25 |
| 1080/24P | 1920 x 1080 | 24 | 27 | 74.25 |
| 1080/25P | 1920 x 1080 | 25 | 28.13 | 74.25 |
| 1080/30P | 1920 x 1080 | 30 | 33.75 | 74.25 |
| 1080/50P | 1920 x 1080 | 50 | 56.25 | 148.5 |
| 1080/60P | 1920 x 1080 | 60 | 67.5 | 148.5 |

☞ ***F. シーケンシャル**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

☞ 1080i(1125i)@60 Hz または 1080i(1125i)@50 Hz 信号を表示すると、イメージが若干揺れる場合があります。

## ビデオおよび S ビデオ入力用にサポートされている タイミング

| ビデオモード | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | カラー副搬送波周波数 (MHz) |
|---|---|---|---|
| NTSC* | 15.73 | 60 | 3.58 |
| PAL | 15.63 | 50 | 4.43 |
| SECAM | 15.63 | 50 | 4.25 または 4.41 |
| PAL-M | 15.73 | 60 | 3.58 |
| PAL-N | 15.63 | 50 | 3.58 |
| PAL-60 | 15.73 | 60 | 4.43 |
| NTSC4.43 | 15.73 | 60 | 4.43 |

☞ ***F. シーケンシャル**フォーマットの 3D 信号に対応するタイミング。

# 保証と著作権について

## 限定保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0°C から 35°C の間、高度 4920 フィート以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

## 著作権

Copyright 2015 by BenQ コーポレーション。All rights reserved。本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

## おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

*DLP、Digital Micromirror Device、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の著作権は各社または各組織に帰属します。

## 特許

BenQ プロジェクターの特許については、http://patmarking.benq.com/ をご覧ください。